
二級河川 大津川水系の当面の治水目標 の設定(流域の概要)について

1. 大津川流域の現状
2. 大津川流域の特性
3. 治水事業の概要
4. 既往の治水計画の概要

1. 大津川流域の現状

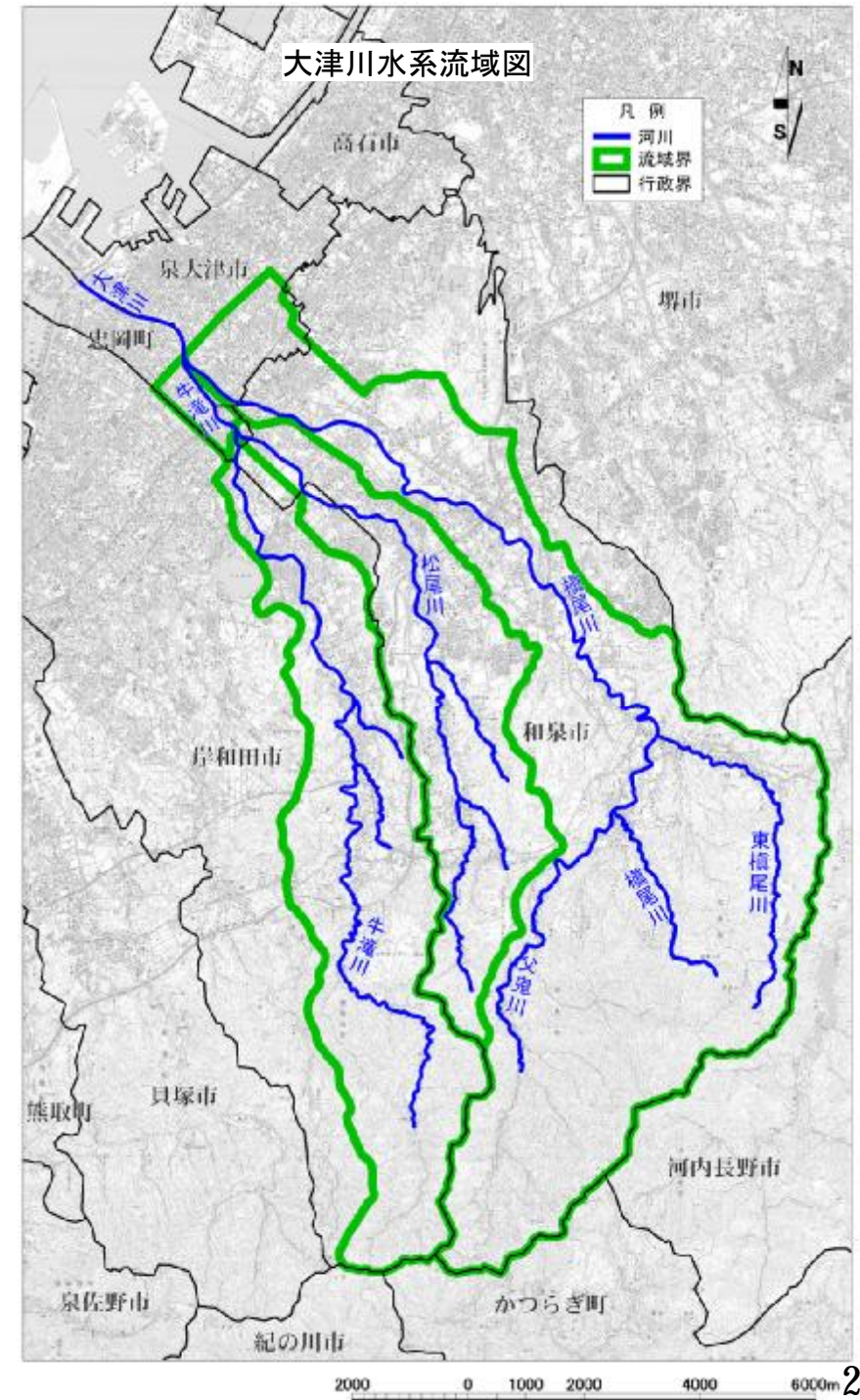
- 大津川水系は、源を葛城山系に発し、父鬼川、東榎尾川、榎尾川、松尾川、牛滝川の支川を合流して大阪湾に注ぐ、流域面積102.2km²、流路延長約68.0km（うち二級河川指定区間流路延長56.6km）の府域最大の二級水系です。
- 流域は、和泉市(71.9%)、岸和田市(26.3%)、泉大津市(1.2%)、忠岡町(0.6%)の3市1町にまたがっています。

大津川水系位置図



指定区間延長・流域面積

河川名	指定区間延長(km)	流域面積(km ²)
大津川	2.6	102.2
榎尾川	18.3	56.7
父鬼川	3.2	19.7
東榎尾川	2.6	10.6
牛滝川	17.5	45.4
松尾川	12.3	18.0
合計	56.6	102.2



1. 大津川流域の現状（大津川）

- 高潮堤防が整備され、高水敷は河川公園として近隣住民の憩いの場となっています。背後地は市街化が進んでいます。



1. 大津川流域の現状（榎尾川下流部）

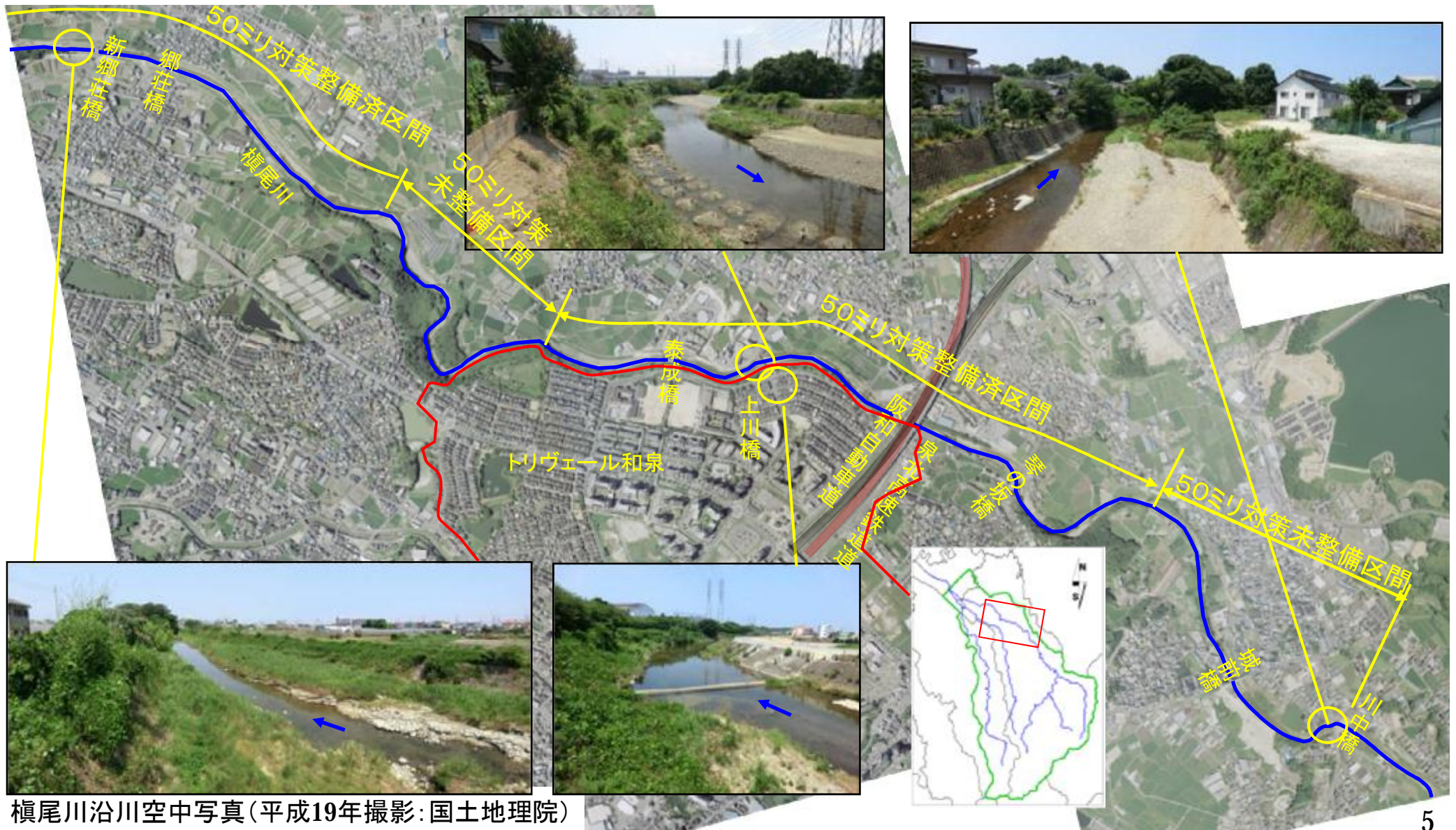
● 榎尾川下流部は既に整備済みで、背後地は市街化が進んでいます。



榎尾川沿川空中写真(平成19年撮影:国土地理院)

1. 大津川流域の現状（榎尾川中流部）

- 榎尾川中流部の河道は整備が進んでおり、背後地もトリヴェール和泉等の開発が進んでいますが、河道沿いには田畑が残っています。



榎尾川沿川空中写真(平成19年撮影:国土地理院)

1. 大津川流域の現状（榎尾川上流部）

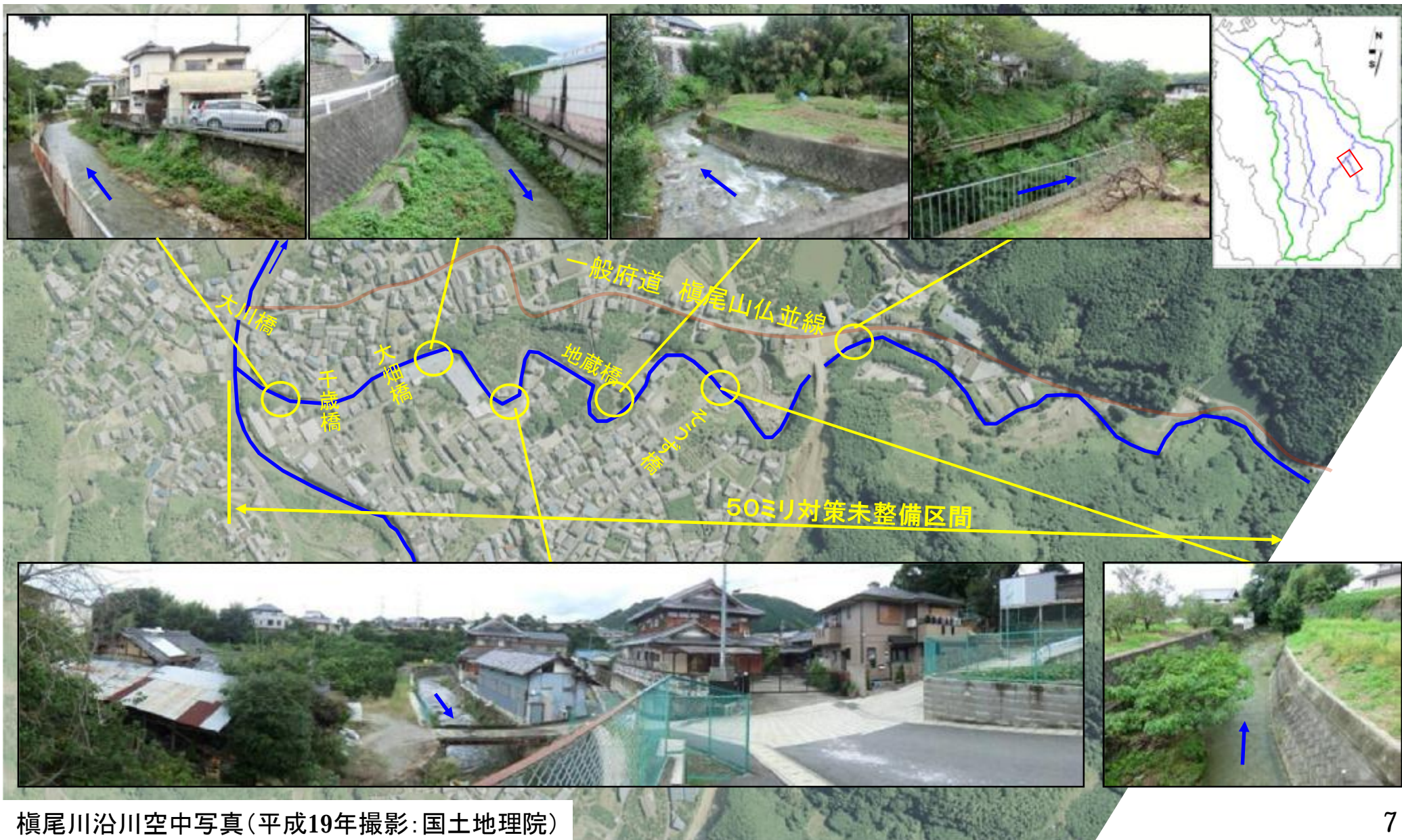
- 榎尾川上流部は、川沿いに宅地と田畑が広がっており、山地も一部見られます。



榎尾川沿川空中写真(平成19年撮影:国土地理院)

1. 大津川流域の現状（榎尾川山地部）

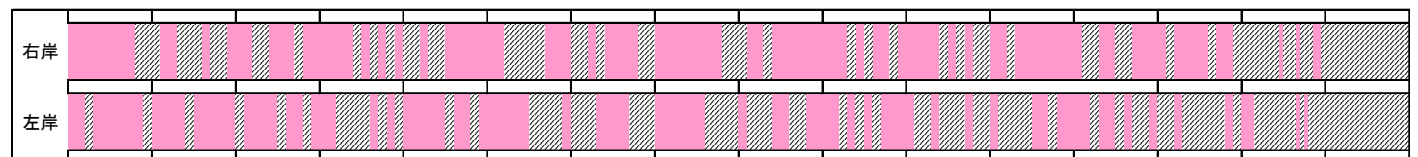
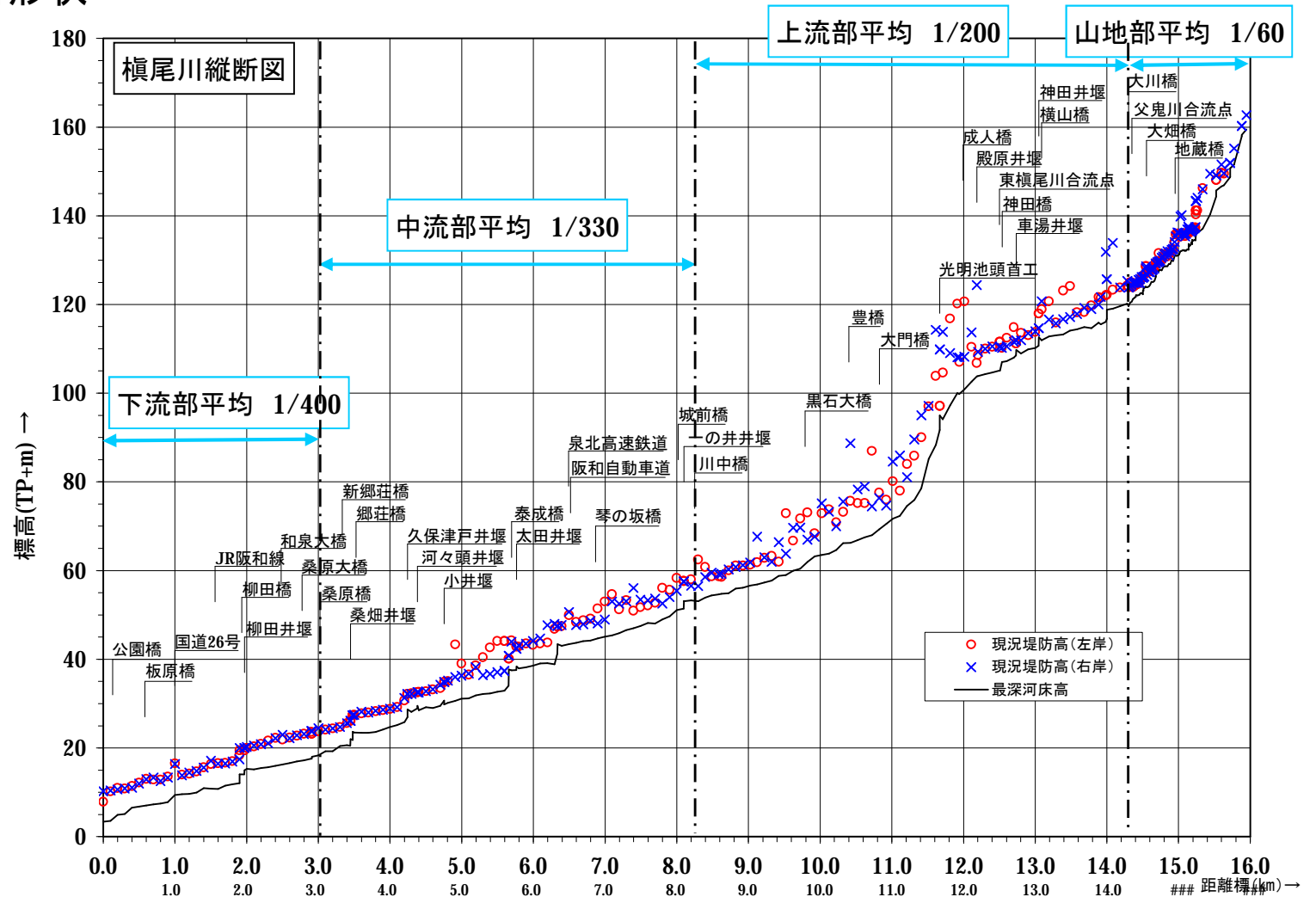
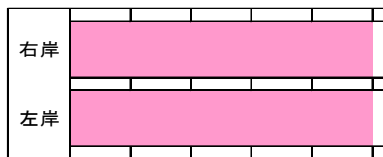
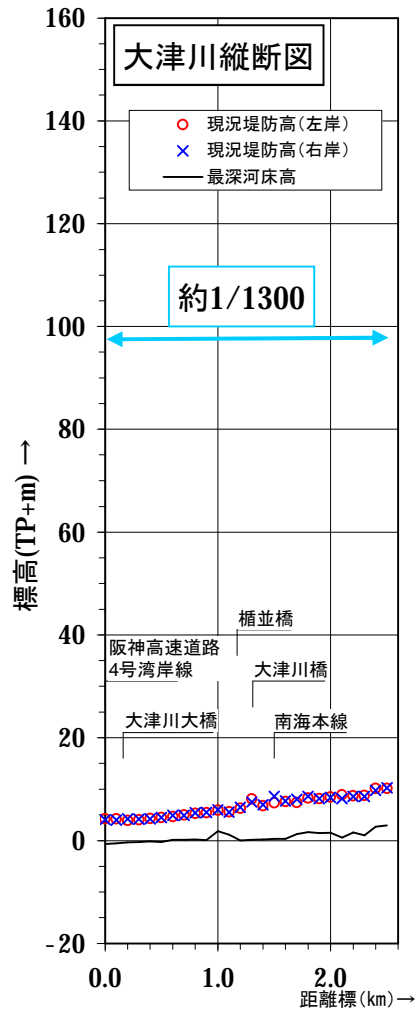
● 榎尾川の山地部は、河道が蛇行し、川幅が狭い上に住家が連担しています。



榎尾川沿川空中写真(平成19年撮影:国土地理院)

1. 大津川流域の現状（大津川・榎尾川縦断形状）

●大津川・榎尾川の縦断形状



築堤 掘込み

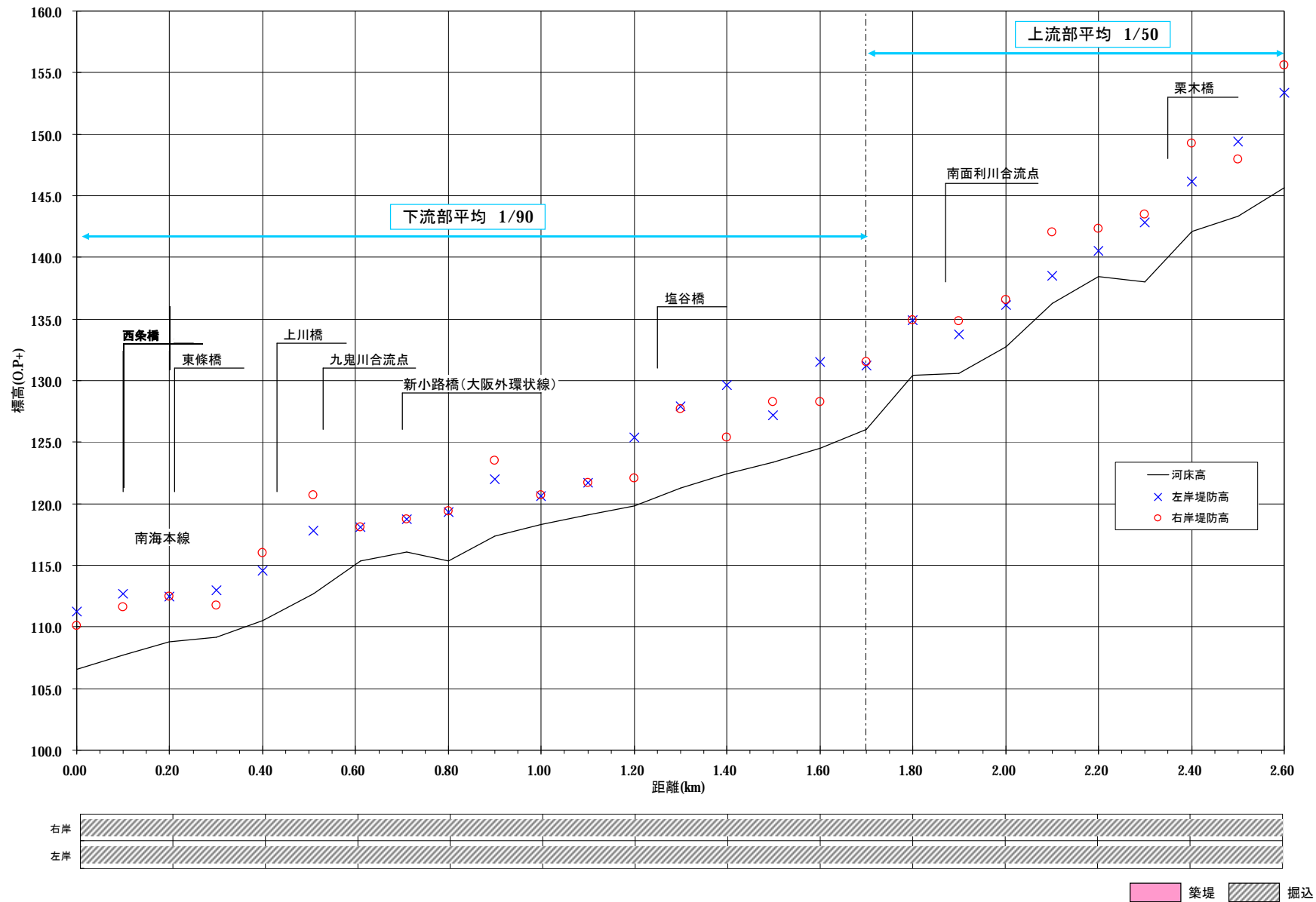
1. 大津川流域の現状（東槇尾川）

- 東槇尾川では、背後地に宅地が多い槇尾川合流部から新小路橋（しんしょうじばし）付近までは50ミリ対策が完了しています。国道170号（大阪外環状線）より上流は、未整備区間となっています。



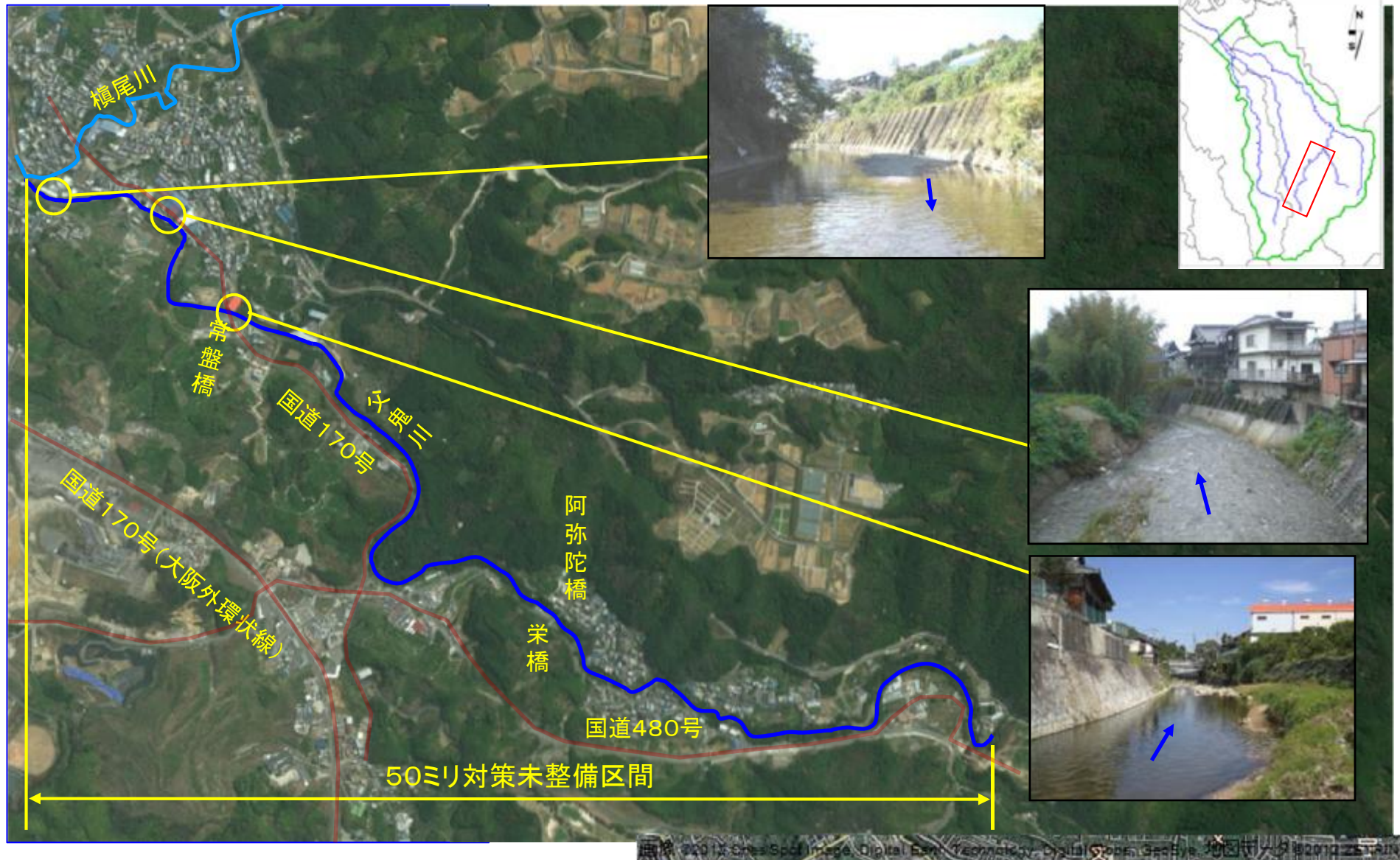
1. 大津川流域の現状（東槇尾川縦断形状）

●東槇尾川の縦断形状



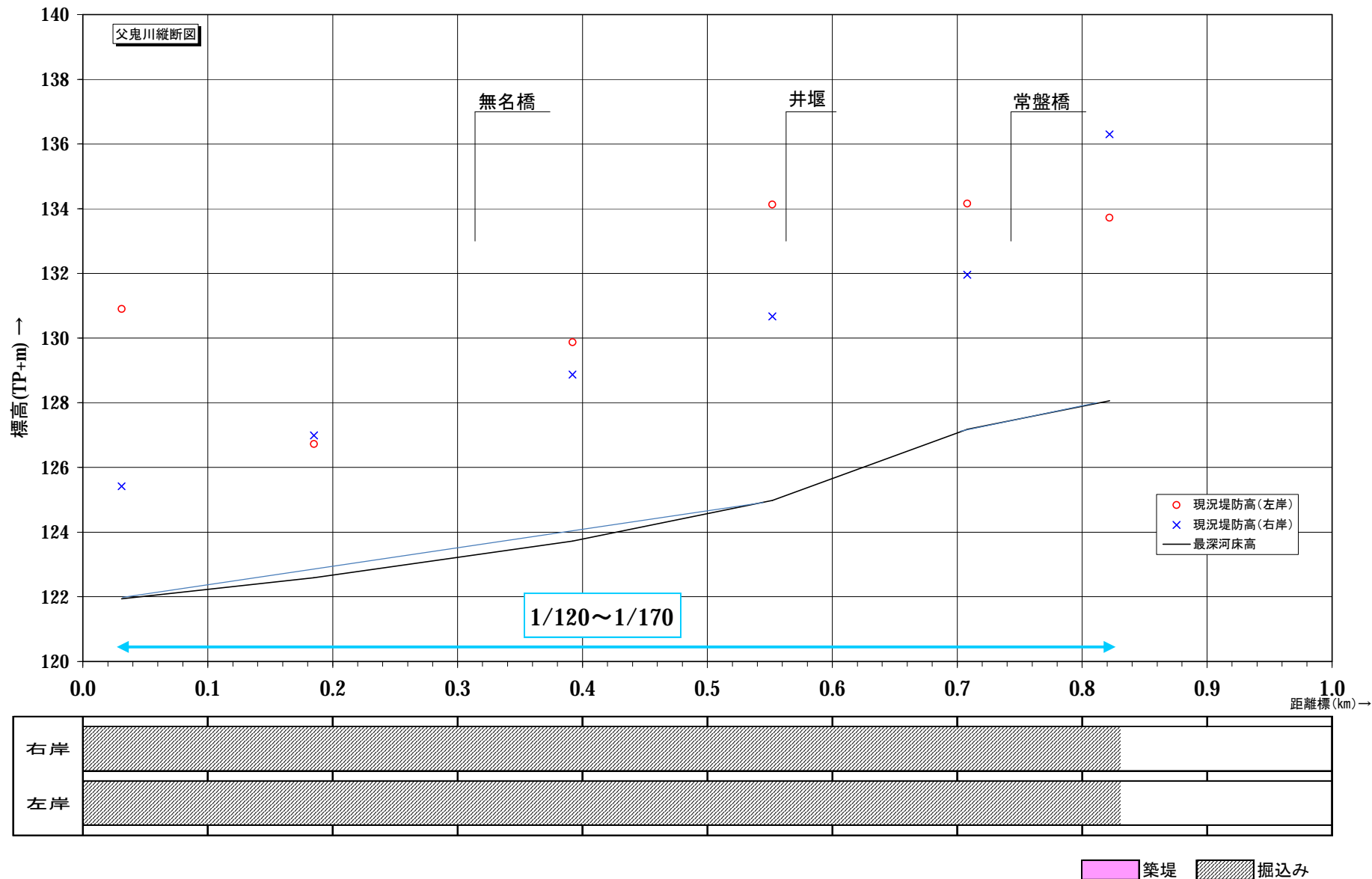
1. 大津川流域の現状（父鬼川）

- 榎尾川合流点から常盤橋までの区間は、右岸側に宅地が密集しており、それより上流は山地部で谷あいの集落を流れています。これまで計画的な河川整備は行っていません。



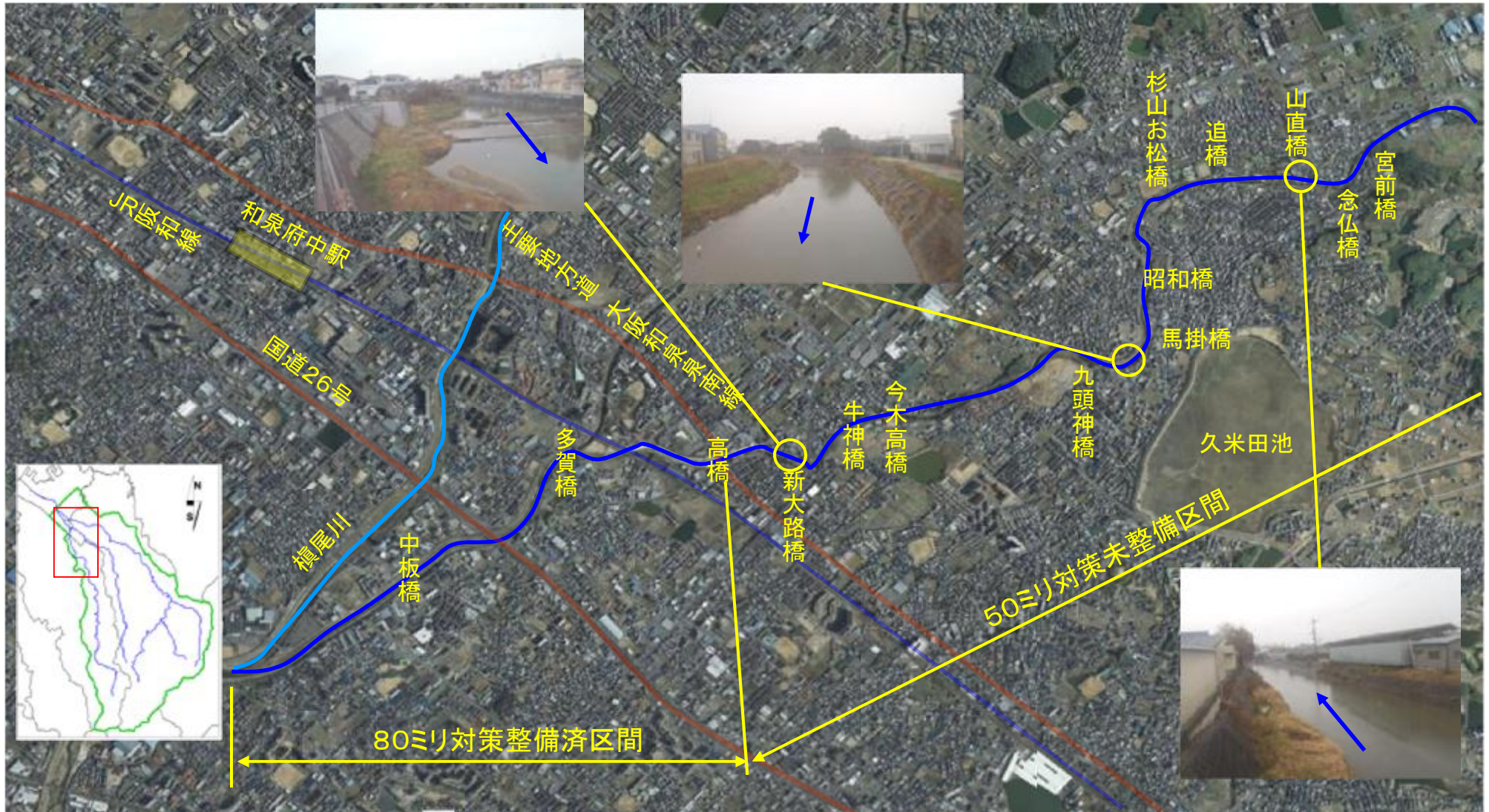
1. 大津川流域の現状（父鬼川縦断形状）

●父鬼川の縦断形状



1. 大津川流域の現状（牛滝川下流部）

- 牛滝川下流部は、大津川合流点から高橋までは整備済となっており、背後地は市街化が進んでいます。



1. 大津川流域の現状（牛滝川中流部）

- 牛滝川中流部は、右岸側に宅地と一部田畑が点在しており、山際に沿うような形状で蛇行しながら流下しています。



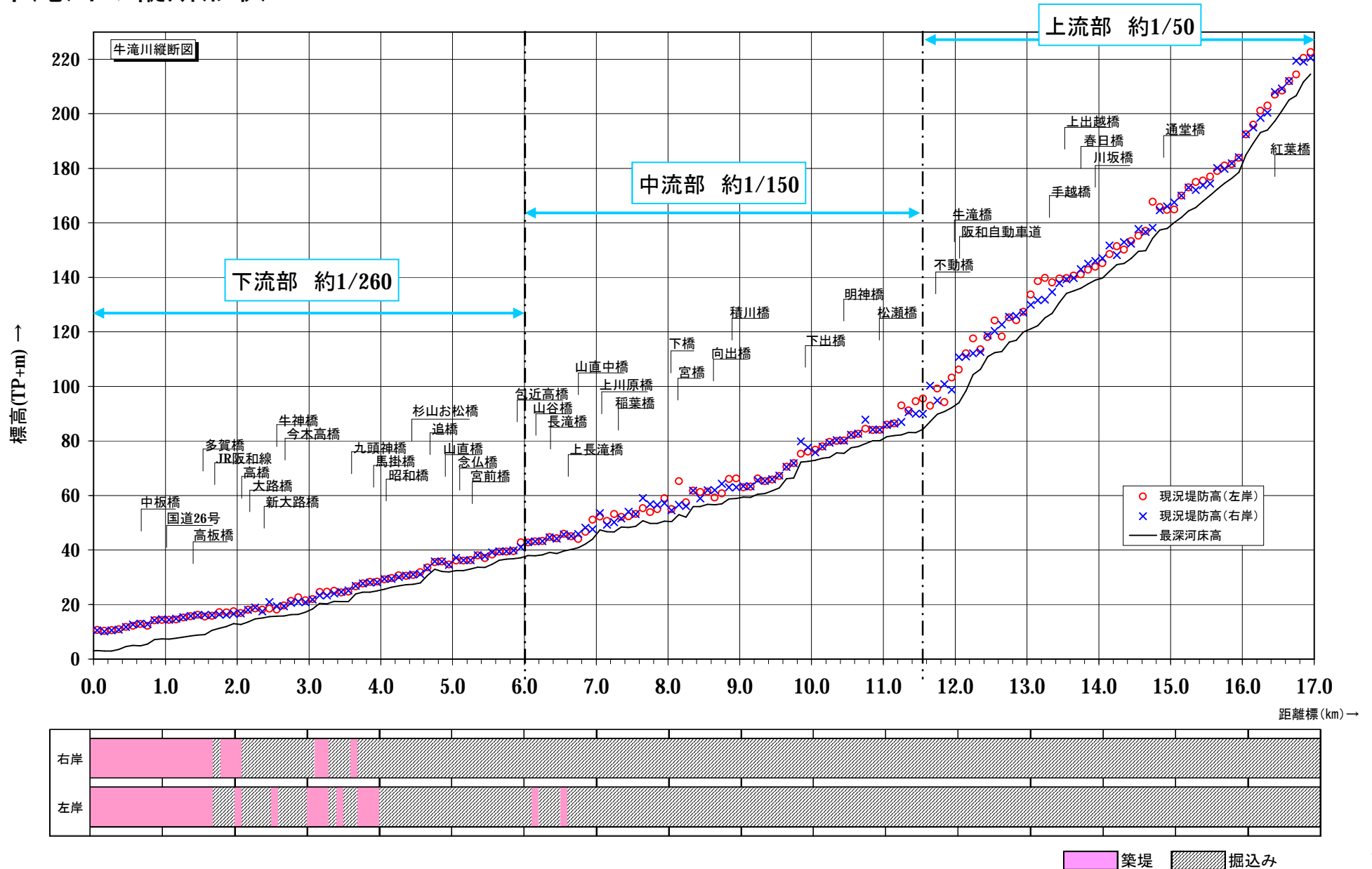
1. 大津川流域の現状（牛滝川上流部）

- 牛滝川の上流部は、ほとんど山地部となっており、谷あいの田畑や点在する集落を流れています。



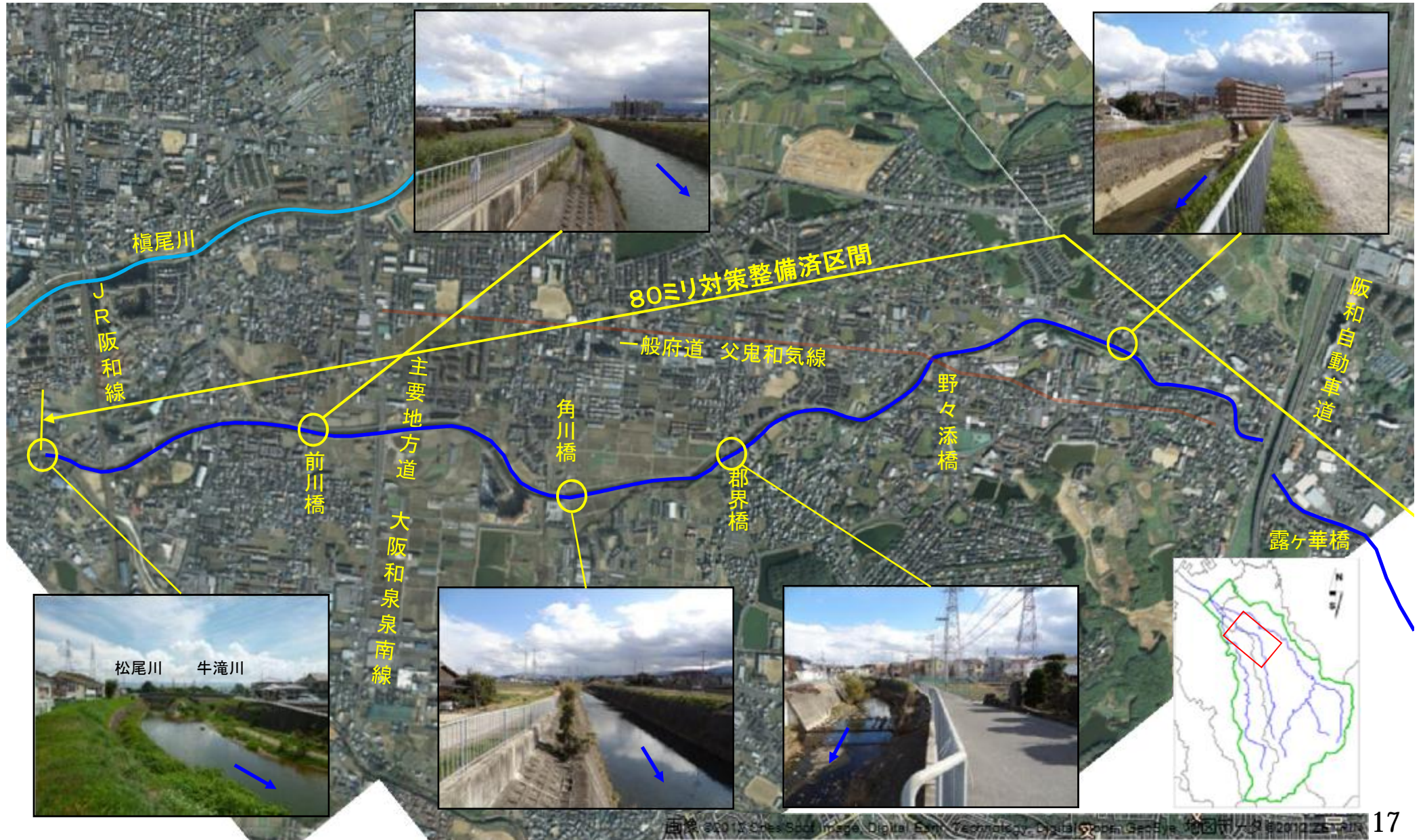
1. 大津川流域の現状（牛滝川縦断形状）

●牛滝川の縦断形状



1. 大津川流域の現状（松尾川下流部）

●松尾川下流域は既に整備が完了しており、背後地には田畑や住宅地が並んでいます。



1. 大津川流域の現状（松尾川中流部）

●松尾川中流部は、宅地が多い下流から庄ノ川橋（しょうのかわばし）までの区間は整備が既に完了しています。また庄ノ川橋より上流は未整備となっており、田畑や山地が残っています。



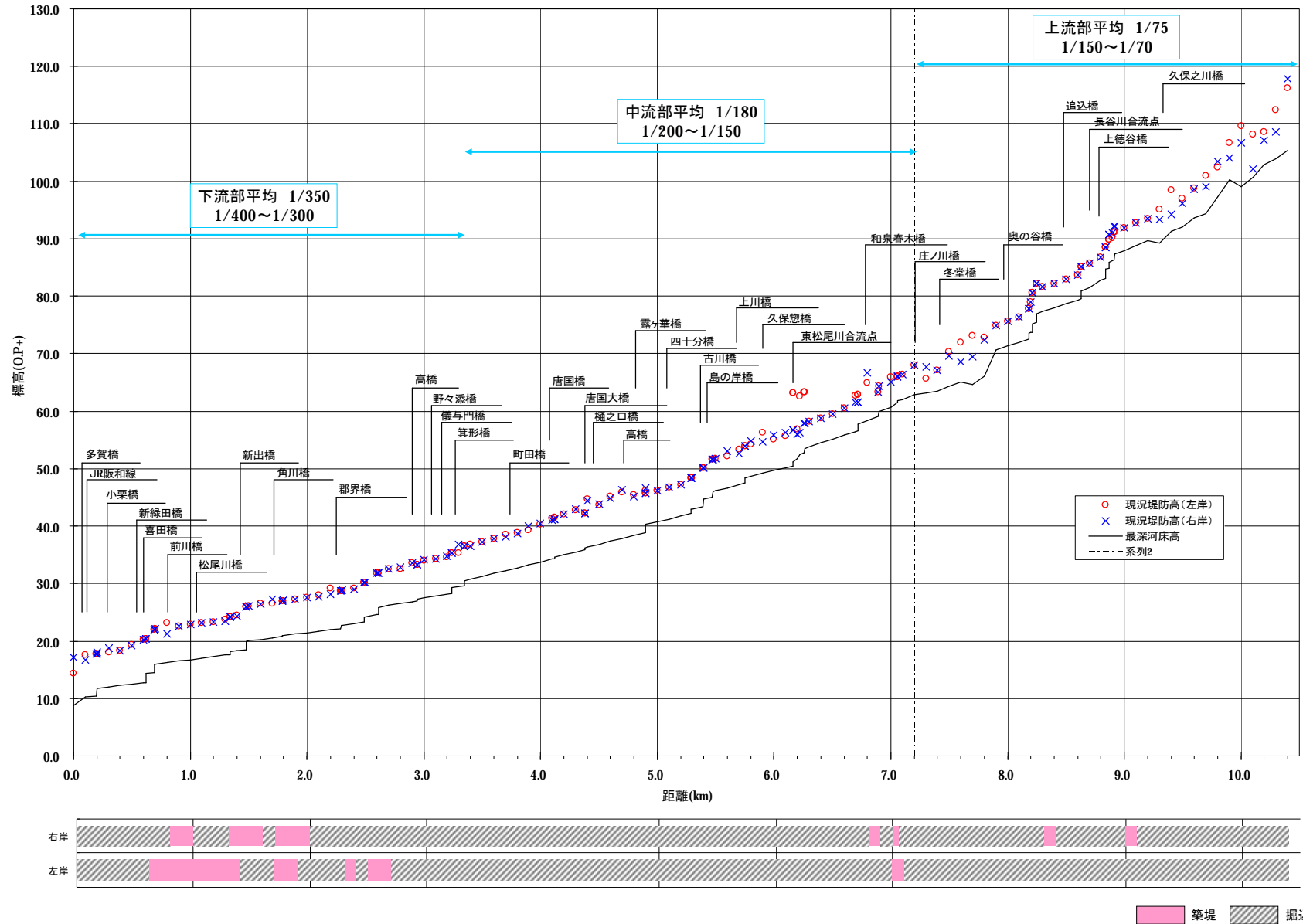
1. 大津川流域の現状（松尾川上流部）

- 松尾上流部では、和泉市和泉コスモポリス土地区画整理事業により整備されている区間があります。またこれより上流は未整備となっており、田畑や山地などが残っています。



1. 大津川流域の現状（松尾川縦断形状）

●松尾川の縦断形状



1. 大津川水系の現状（河道の状況）

○河道の状況

大津川水系において、時間雨量50ミリの降雨に対応した河川改修が、約75%完成しています。しかしながら、昭和46年の事業着手から40年以上経過しているため、護岸の老朽化が著しく進行しているところがあります。



槇尾川

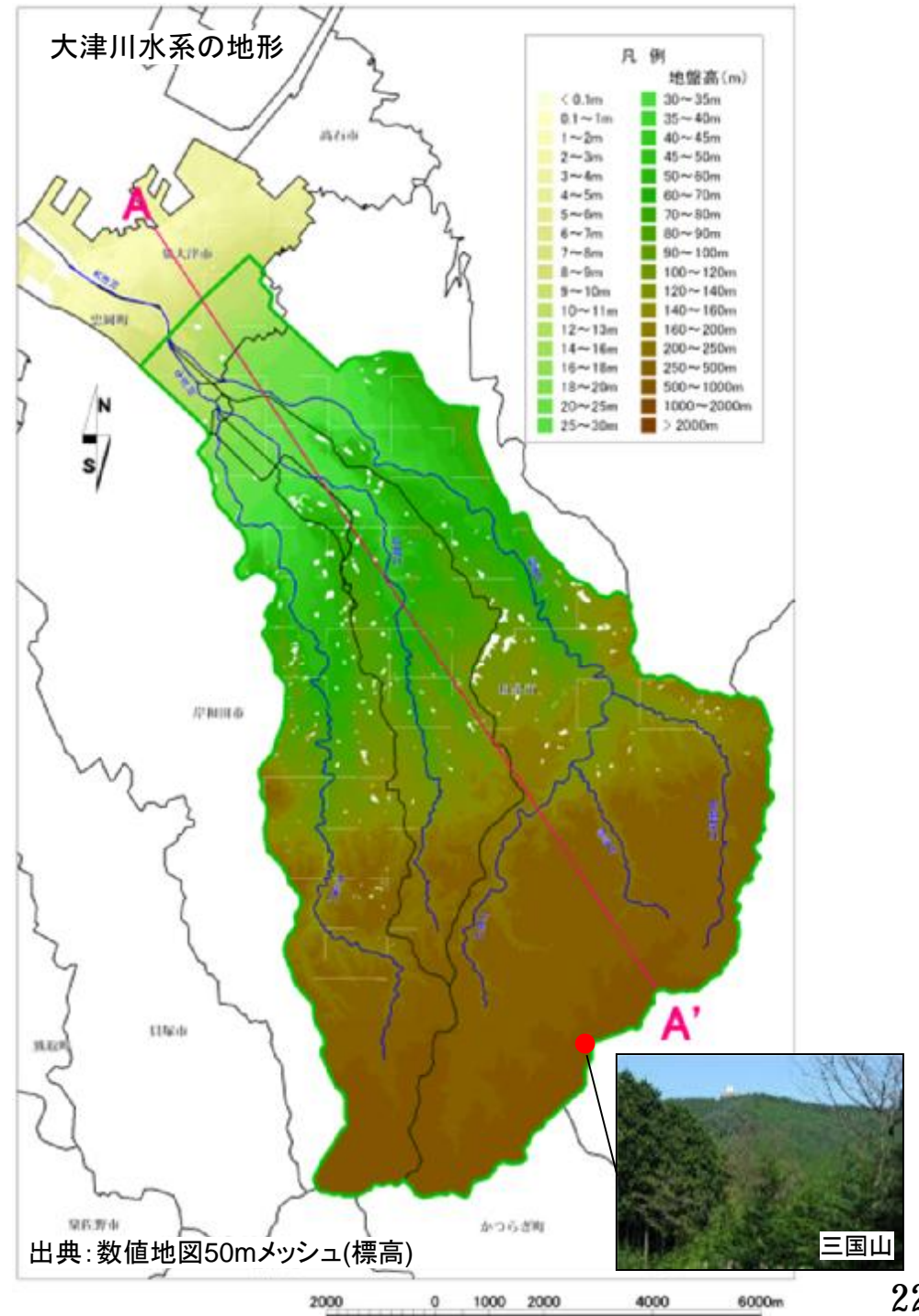
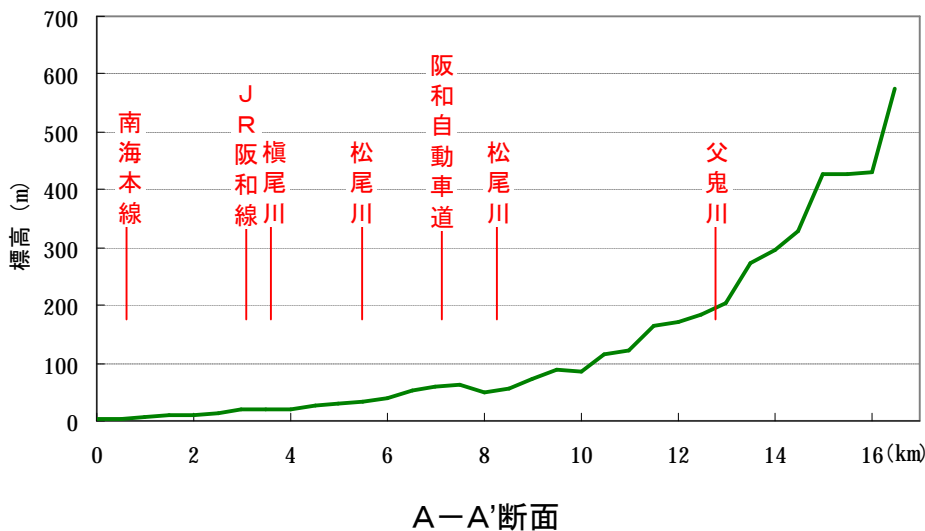


牛滝川

2. 大津川流域の特性

●自然特性（地形）

大津川流域の地形特性は、中央部から南部にかけて泉北丘陵が広がっており、南部には和泉山地が控えています。最高点は和泉山地の一角である三国山（みくにやま）（885.7m）で、そこから標高100～200mの丘陵地へと急な傾斜となり、丘陵地から河口に向けて緩やかな傾斜を呈しています。

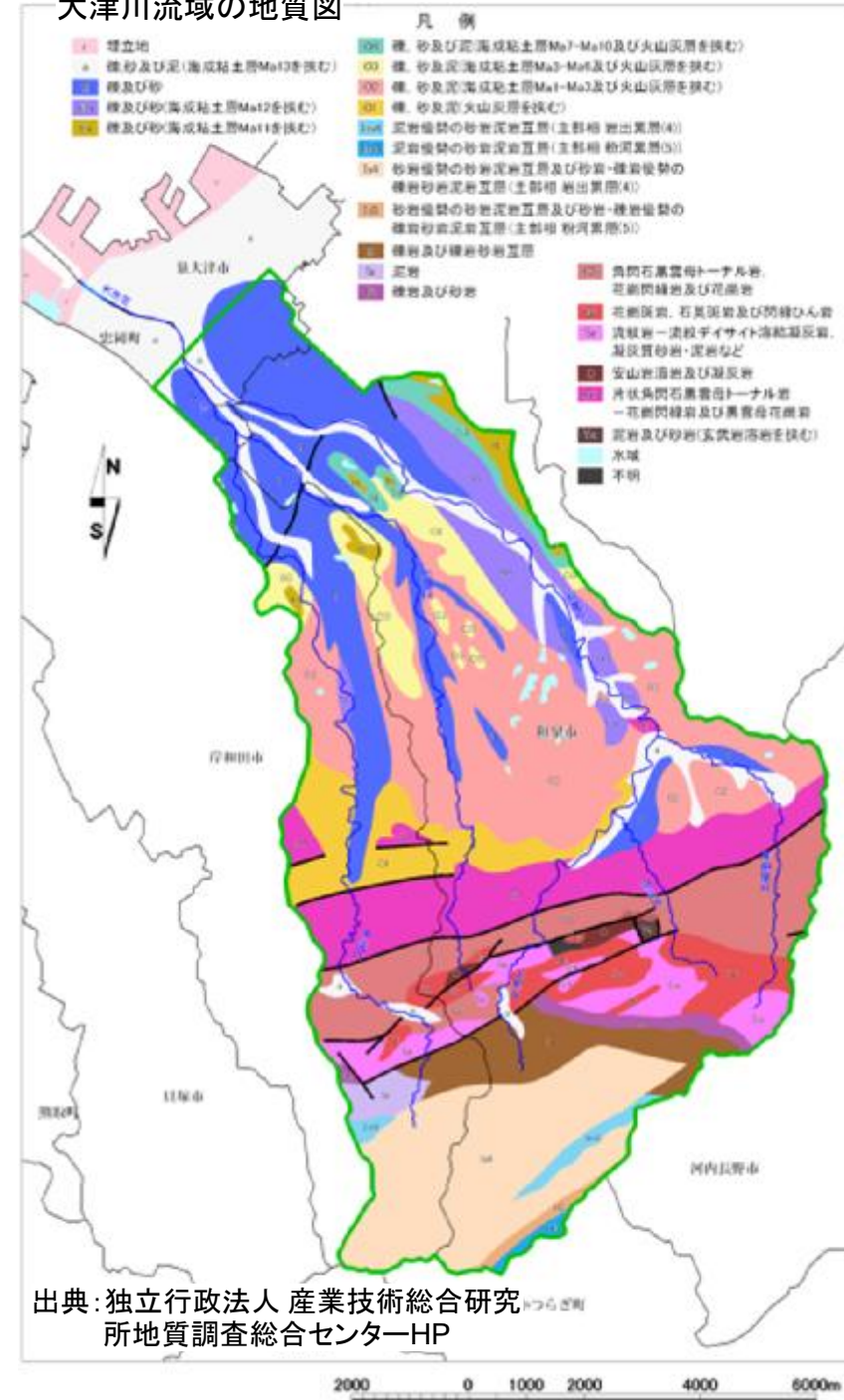


2. 大津川流域の特性

●自然特性（地質）

流域の表層地質は、低地、丘陵地では粘土・砂・礫で覆われており、上流の山地部になると標高の低いところは花崗岩で、高いところは礫岩・砂岩で覆われています。また、榎尾川が牛滝川と合流する下流部付近から大津川の周辺では、大津川などによって形成された沖積平野となっています。

大津川流域の地質図



出典: 独立行政法人 産業技術総合研究所地質調査総合センターHP

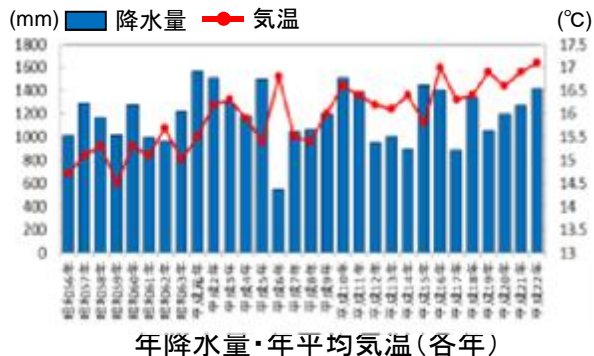
2. 大津川流域の特性

●自然特性（気候・気象とため池）

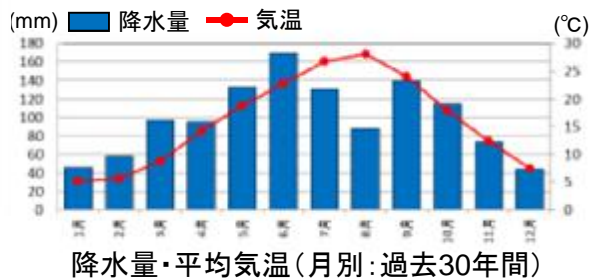
流域の気候は瀬戸内海式気候に属し、比較的降雨量が少なく、降雨も梅雨期と台風期に集中し、年間を通じて温暖な気候となっています。そのため、流域内には多くのため池が存在します。

流域に隣接する気象台の堺地域気象観測所の過去30年間の観測では、平均年降水量1187mm、平均気温15.9℃です。

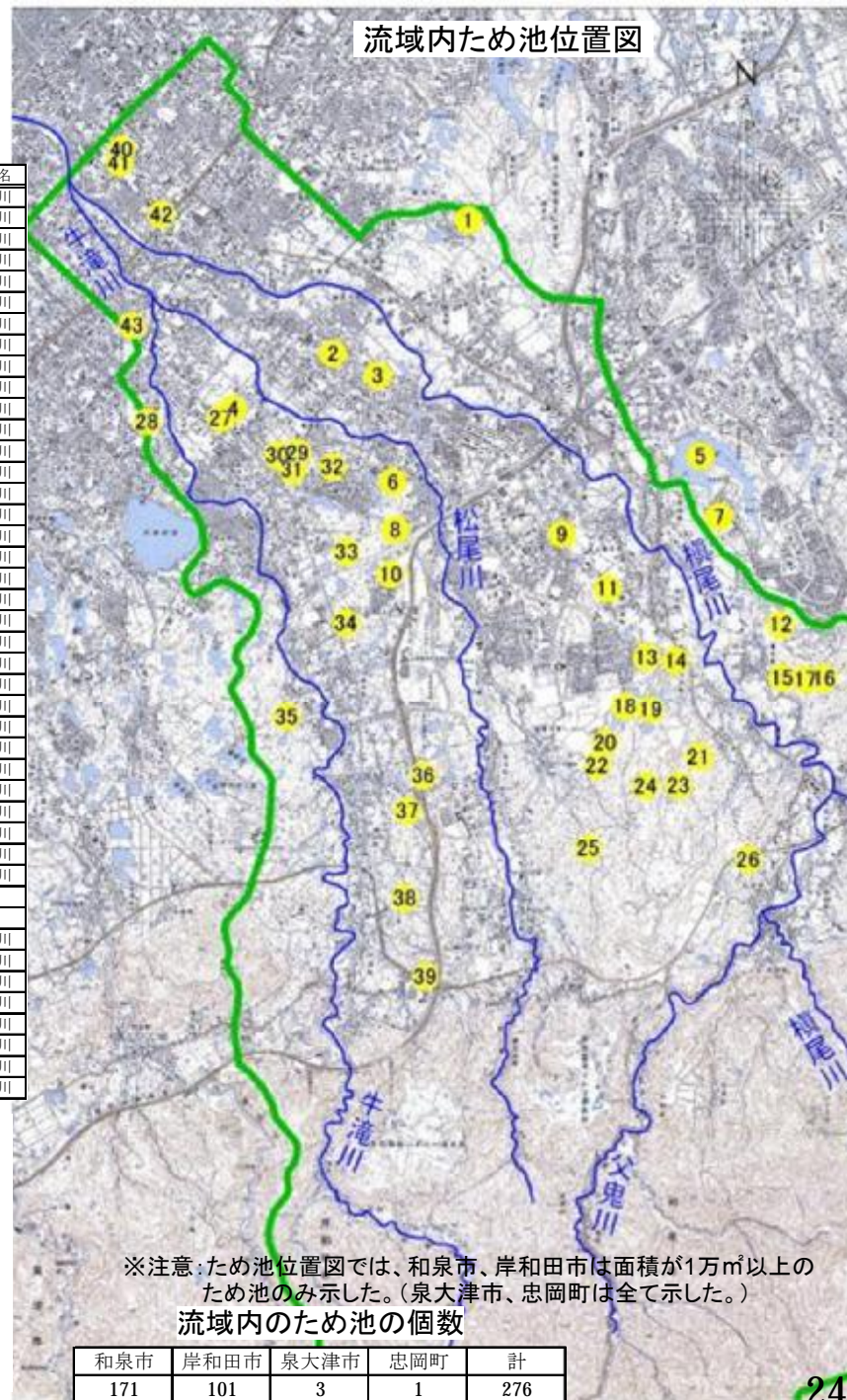
堺地域気象観測所統計データ



出典：気象台HP(気象統計情報)



No.	市町	ため池名	所在地	河川名
1	和泉市	大池	山荘町337-1	横尾川
2		妙の池	寺門町225-7	松尾川
3		大池上池	観音寺町1002-1	横尾川
4		軽部池	小田町951	松尾川
5		光明池	和田町279-3	横尾川
6		箕形今池	箕形町468	松尾川
7		石戸池	和田町1380-1	横尾川
8		ニゴリ池	唐国町1191	松尾川
9		オウソ池	万町1041-1	横尾川
10		大蔵池	唐国町1240	松尾川
11		浦田今池	浦田町720-1	横尾川
12		三林長池	三林町844-1	大津川
13		鍛冶屋大池	鍛冶屋町454-1	横尾川
14		納花長池	納花町323	勝江川
15		大池	黒石町110-1	横尾川
16		戸立池	黒石町143-1	横尾川
17		中野池	黒石町134-1	横尾川
18		梨本池	鍛冶屋町532-1	横尾川
19		谷山池	府中町飛地1629-1	横尾川
20		梨本中池	鍛冶屋町535-1	横尾川
21		平井新池下池	平井町827	横尾川
22		梨本上池	鍛冶屋町536-1	横尾川
23		除谷池	平井町833	横尾川
24		谷山上池	府中町飛地1627-1	横尾川
25		前代池	松尾寺町2149-1	松尾川
26		仏並大池	仏並町358-1	横尾川
27	岸和田市	今木(甘)池	今木町44	牛滝川
28		金池	東大路町217	牛滝川
29		長池	摩湯町686	牛滝川
30		摩湯今池	摩湯町333	大津川
31		三村池	田治米町801	牛滝川
32		林池	摩湯町670	松尾川
33		クゾコ池	三田町1411	牛滝川
34		二俣池	包近町296	
35		平池	山直中町1223	
36		奥の池	稲葉町1059	牛滝川
37		武恒池	稲葉町565	牛滝川
38		中ノ池	積川町900	牛滝川
39		奈良池	内畑町1760-1	牛滝川
40	泉大津市	諸瀬池	虫取29	横尾川
41		中池	宇多1047-1	横尾川
42		小寺池	板原12番地	横尾川
43	忠岡町	前々池	忠岡町高月南1丁	牛滝川



2. 大津川流域の特性

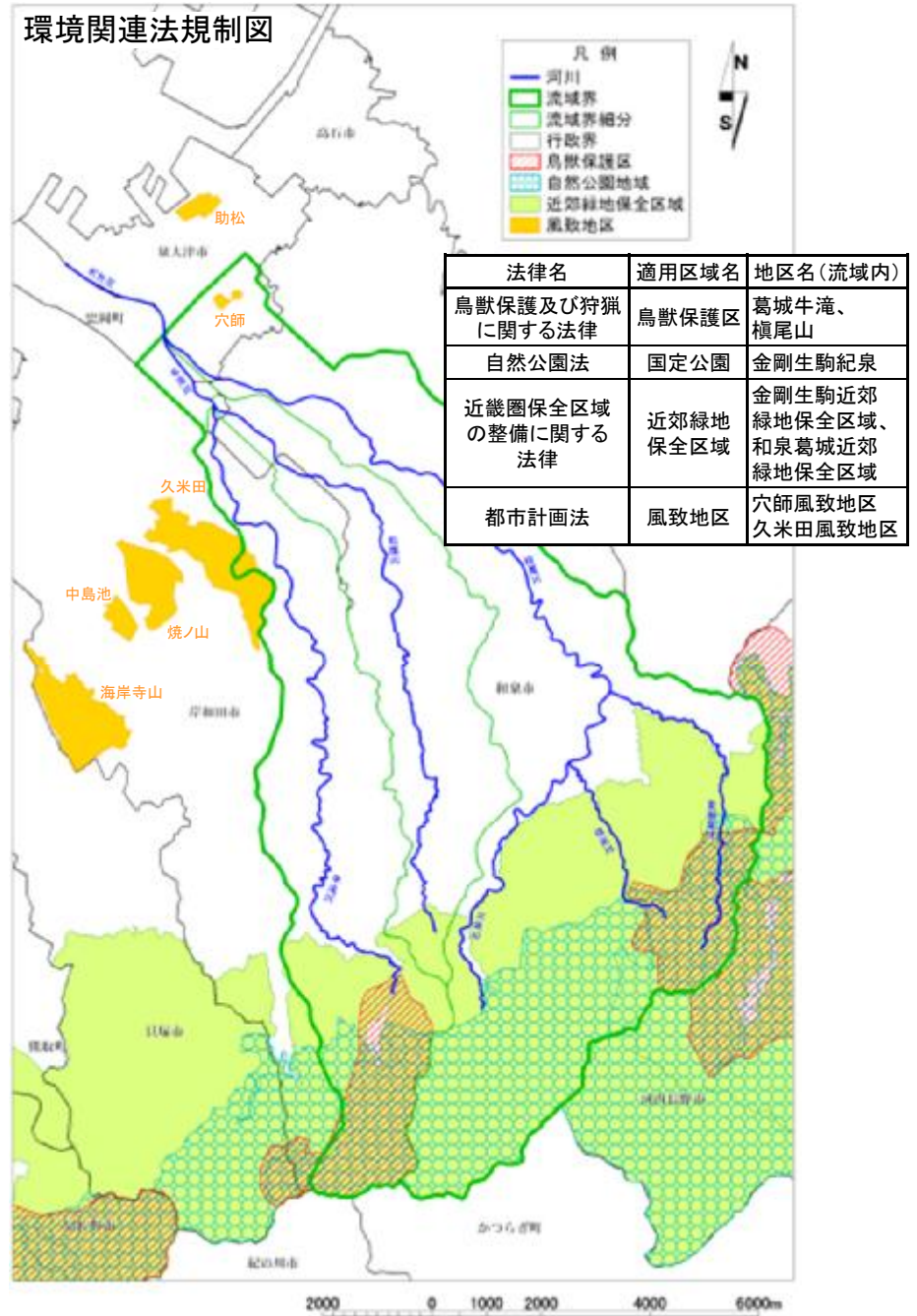
●環境保全関連法規制

大津川流域における3市1町の環境保全関連の法規制は、鳥獣保護区として、槇尾川源流部と牛滝川源流部が指定され、国定公園と近郊緑地保全区域としては、大津川水系の源流部全体が広く指定されています。また、流域内の風致地区としては、穴師（あなし）・久米田が指定されています。

また、流域の上流部は保安林に指定されており、開発等はほとんど進んでおらず、緑豊かな環境にあります。



出典: 国土交通省 国土数値情報



出典: 大阪府HP(風致地区)

国土交通省 国土数値情報 鳥獣保護区・自然公園地域・三大都市圏計画区域

2. 大津川流域の特性

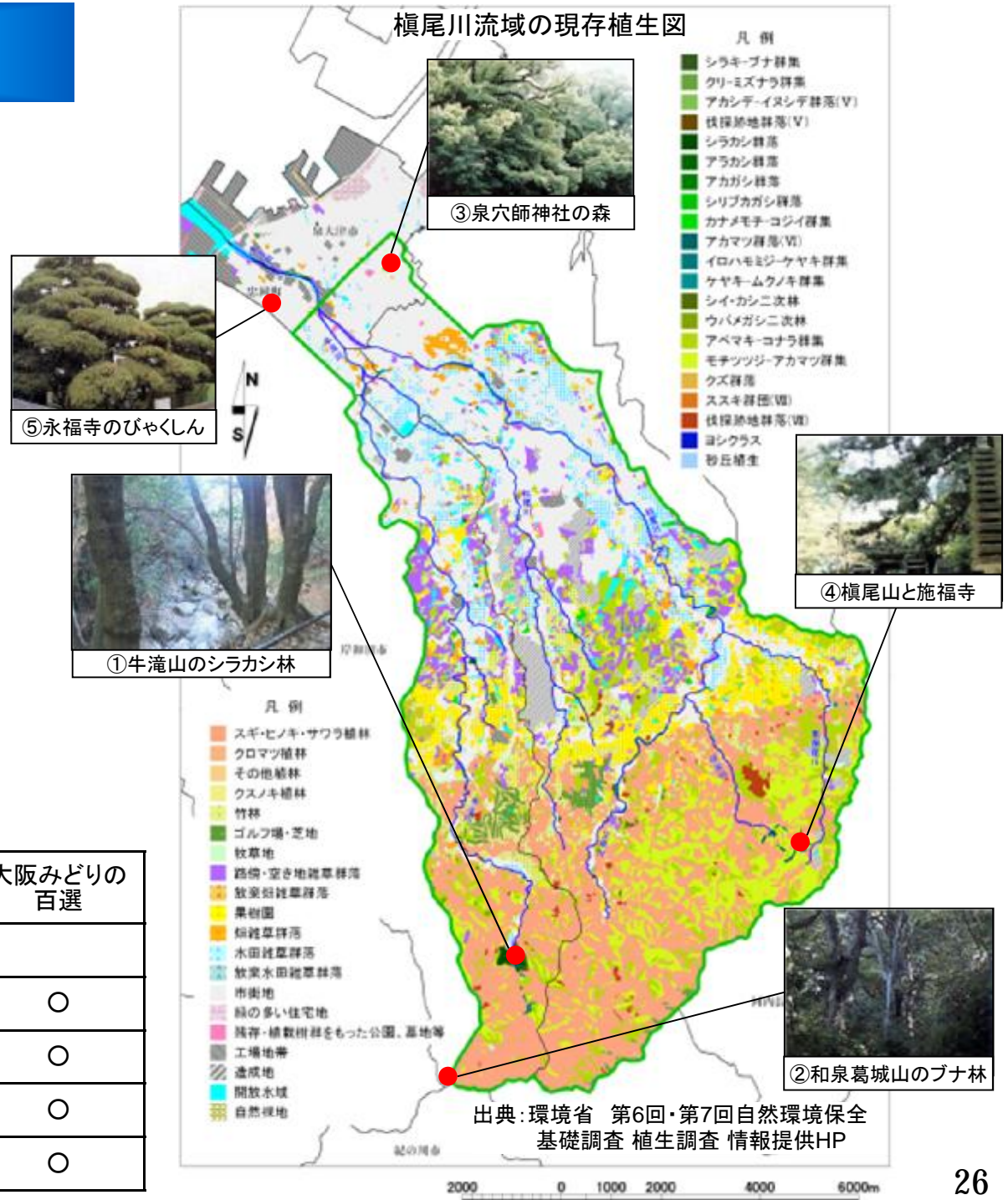
●自然特性（植生の状況）

大津川流域の植生は右図に示す通り、中流部から上流の山地付近までは果樹園や水田が主となり、山地部の和泉山地には、モチツツジ—アカマツ群集及びスギ・ヒノキ・サワラ植林が広がっています。

また、「牛滝山のシラカシ林」等が環境省の特定植物群落に指定され、「槇尾山（まきおさん）と施福寺（せふくじ）」等が「大阪みどりの百選」に選定されています。

流域の貴重な植物

No	件名	所在地	環境省 特定植物群落	大阪みどりの 百選
①	牛滝山のシラカシ林	岸和田市大沢町	○	
②	和泉葛城山のブナ林	貝塚市蕎原	○	○
③	泉穴師神社の森	泉大津市豊中町		○
④	槇尾山と施福寺	和泉市槇尾山町		○
⑤	永福寺のびやくしん	泉北郡忠岡町		○



2. 大津川流域の特性

●自然特性（魚類の状況）

<大津川・牛滝川・松尾川>

※確認個体数が多いものは斜字（下線付）

オイカワやカワムツが多く確認され、ドジョウやメダカなどの貴重種やオオクチバス、ブルーギルなどの特定外来種も確認されています。

牛滝川(念仏橋)

二級河川津田川外多自然型護岸検討委託(H12)

コイ
Carassius属の一種(フナ類)
オイカワ
カワムツB型
モツゴ
タモロコ(大阪府RDB要注目)
ドジョウ(大阪府RDB絶滅危惧Ⅱ類)
トウヨシノボリ
カワヨシノボリ

牛滝川(上川原橋)

二級河川津田川外多自然型護岸検討委託(H12)

Carassius属の一種(フナ類)
オイカワ
カワムツB型
モツゴ
ドジョウ(大阪府RDB絶滅危惧Ⅱ類)
トウヨシノボリ
カワヨシノボリ
カムルチー

牛滝川(通堂橋)

二級河川津田川外多自然型護岸検討委託(H12)

カワムツB型
タカハヤ(大阪府RDB要注目)
トウヨシノボリ
カワヨシノボリ

牛滝川(念仏橋)

二級河川佐野川外多自然型護岸検討委託(H17)

コイ
ギンブナ
オイカワ
コウライモロコ(大阪府RDB要注目)
ドジョウ(大阪府RDB絶滅危惧Ⅱ類)
カワヨシノボリ



牛滝川(通堂橋)

二級河川佐野川外多自然型護岸検討委託(H17)

カワムツ
タカハヤ(大阪府RDB要注目)
カワヨシノボリ

大津川(大津川橋)

二級河川榎尾川外多自然型護岸検討委託(H14)

ウナギ(環境省RL情報不足)
コイ
モツゴ
メダカ(環境省RL大阪府RDB絶滅危惧Ⅱ類)
ボラ
カワアナゴ
マハゼ

大津川(大津川橋)

二級河川榎尾川外河川水辺環境調査業務委託(H19)

ウナギ(環境省RL情報不足)
コイ
オイカワ
モツゴ
タモロコ(大阪府RDB要注目)
メダカ(環境省RL大阪府RDB絶滅危惧Ⅱ類)
スズキ
ブルーギル(特定外来生物)
クロダイ
メナダ
カワアナゴ
ミズハゼ
マハゼ
ゴクラクハゼ
チチブ(大阪府RDB情報不足)

松尾川(郡界橋)

二級河川百舌鳥川外多自然型護岸検討委託(H13)

コイ
ギンブナ
オイカワ
モツゴ
オオクチバス(特定外来生物)
カワヨシノボリ

松尾川(久保惣橋)

二級河川百舌鳥川外多自然型護岸検討委託(H13)

オイカワ
カワムツB型
ドジョウ(大阪府RDB絶滅危惧Ⅱ類)
オオクチバス(特定外来生物)

松尾川(追込橋)

二級河川百舌鳥川外多自然型護岸検討委託(H13)

ギンブナ
オイカワ
カワムツB型
ドジョウ(大阪府RDB絶滅危惧Ⅱ類)
オオクチバス(特定外来生物)



環境省RL「日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト」
大阪府RDB「大阪府における保護上重要な野生生物」

大津川流域自然特性調査位置図

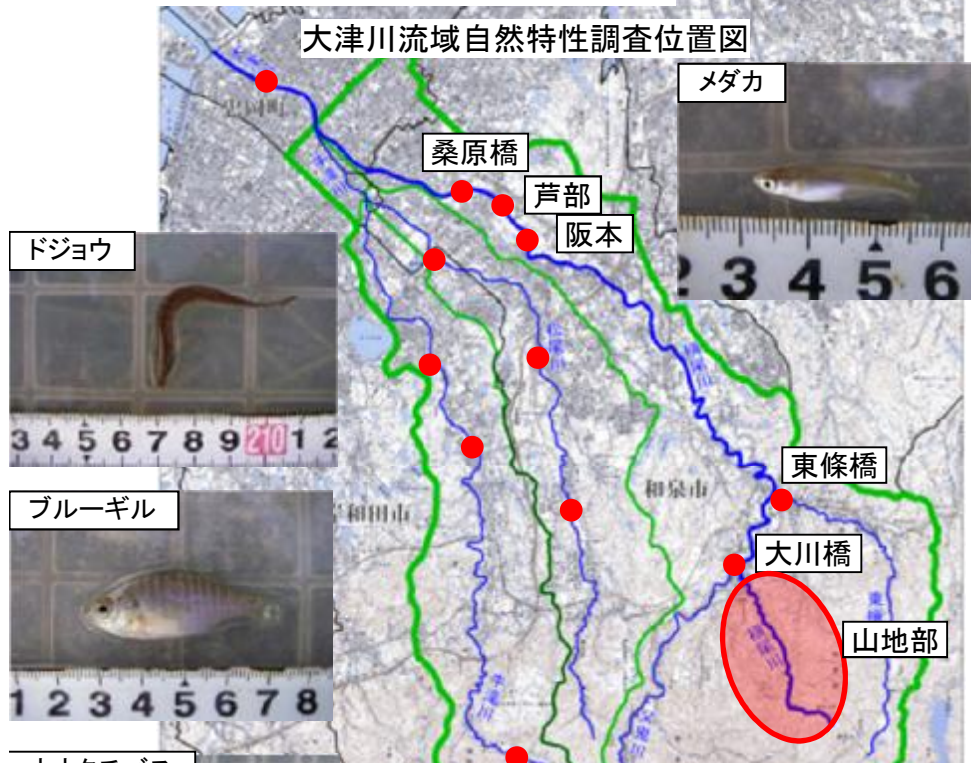


2. 大津川流域の特性

●自然特性（魚類の状況）

<榎尾川・東榎尾川>

※確認個体数が多いものは斜字（下線付）



写真出典：
二級河川榎尾川外河川水辺環境調査業務委託報告書

榎尾川(山地部) 重要な魚類のみ
 うなぎ(環境省RL大阪府RDB準絶滅危惧)※
 アブラハヤ(大阪府RDB情報不足)※
 タカハヤ(大阪府RDB要注目)
 タモロコ(大阪府RDB要注目)※
 ツチフキ(環境省RL大阪府RDB絶滅危惧Ⅱ類)※
 ドジョウ(大阪府RDB絶滅危惧Ⅱ類)
 シマドジョウ(大阪府RDB要注目)※
 アカザ(環境省RL大阪府RDB絶滅危惧Ⅱ類要注目)※
 ウキゴリ(大阪府RDB絶滅危惧Ⅱ類)

(山地部)出典: 榎尾川ダム基本設計会議 環境部会資料
 ※は文献調査による

榎尾川(桑原橋)
 二級河川榎尾川外多自然型護岸検討委託(H14)
 コイ
 ギンブナ
 オイカワ
 モツゴ
 ナマズ
 メダカ(環境省RL大阪府RDB絶滅危惧Ⅱ類)

榎尾川(芦部)
 二級河川榎尾川外多自然型護岸検討委託(H14)
 ギンブナ
 オイカワ
 モツゴ
 ドジョウ(大阪府RDB絶滅危惧Ⅱ類)

榎尾川(阪本)
 二級河川榎尾川外多自然型護岸検討委託(H14)
 コイ
 ギンブナ
 オイカワ
 ドジョウ(大阪府RDB絶滅危惧Ⅱ類)
 ナマズ
 メダカ(環境省RL大阪府RDB絶滅危惧Ⅱ類)
 カワヨシノボリ

榎尾川(大川橋)
 二級河川榎尾川外多自然型護岸検討委託(H14)
 オイカワ
 シマドジョウ(大阪府RDB要注目)
 カワヨシノボリ

東榎尾川(東條橋)
 二級河川榎尾川外河川水辺環境調査業務委託(H19)
 オイカワ
 カワムツ
 シマドジョウ(大阪府RDB要注目)
 オオクチバス(特定外来生物)
 トウヨシノボリ

榎尾川(桑原橋)
 二級河川榎尾川外河川水辺環境調査業務委託(H19)
 コイ
 ギンブナ
 オイカワ
 モツゴ
 タモロコ(大阪府RDB要注目)
 メダカ(環境省RL大阪府RDB絶滅危惧Ⅱ類)
 ブルーギル(特定外来生物)
 トウヨシノボリ

榎尾川(芦部)
 二級河川榎尾川外河川水辺環境調査業務委託(H19)
 ギンブナ
 オイカワ
 カワムツ
 ドジョウ(大阪府RDB絶滅危惧Ⅱ類)
 タモロコ(大阪府RDB要注目)
 メダカ(環境省RL大阪府RDB絶滅危惧Ⅱ類)
 ブルーギル(特定外来生物)

榎尾川(阪本)
 二級河川榎尾川外河川水辺環境調査業務委託(H19)
 コイ
 オイカワ
 カワムツ
 ドジョウ(大阪府RDB絶滅危惧Ⅱ類)
 ギギ(大阪府RDB絶滅危惧Ⅱ類)
 タモロコ(大阪府RDB要注目)
 メダカ(環境省RL大阪府RDB絶滅危惧Ⅱ類)
 ブルーギル(特定外来生物)
 オオクチバス(特定外来生物)
 トウヨシノボリ

榎尾川(大川橋)
 二級河川榎尾川外河川水辺環境調査業務委託(H19)
 オイカワ
 カワムツ
 シマドジョウ(大阪府RDB要注目)
 オオクチバス(特定外来生物)
 トウヨシノボリ

2. 大津川流域の特性

●自然特性（底生動物の状況）

確認されたうち貴重種としては、環境省RLにヒラマキガイモドキ、ナガオカモノアラガイが準絶滅危惧に、大阪府RDBにはナガオカモノアラガイが絶滅危惧Ⅱ類に、ヒメモノアラガイ、ヒメサナエが準絶滅危惧に、カワニナ、ゲンジボタルが要注目に指定されています。

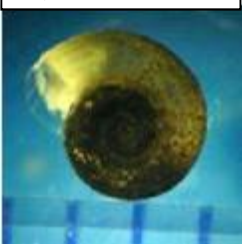
ナガオカモノアラガイ



ヒメモノアラガイ



ヒラマキガイモドキ



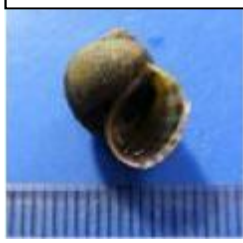
カワニナ



ゲンジボタル



スクミリンゴガイ



松尾川(久保惣橋)

二級河川百舌鳥川外多自然型護岸検討委託(H13)

カワニナ(大阪府RDB要注目)
ナガオカモノアラガイ(環境省RL準絶滅危惧
大阪府RDB絶滅危惧Ⅱ類)
イボビル(環境省RL情報不足)
アメリカザリガニ(特定外来種)

牛滝川(通堂橋)

二級河川津田川外多自然型護岸検討委託(H12)

ゲンジボタル(大阪府RDB要注目)

槇尾川(山地部)

カワニナ(大阪府RDB要注目)
ヒメモノアラガイ(大阪府RDB準絶滅危惧)
ムカシトンボ(大阪府RDB準絶滅危惧)
ゲンジボタル(幼虫)(大阪府RDB要注目)

(山地部)出典

槇尾川ダム基本設計会議 環境部会資料

大津川流域自然特性調査位置図

※貴重種、特定外来種に限り記載

槇尾川(桑原橋)

二級河川槇尾川外河川水辺環境調査業務委託(H19)

スクミリンゴガイ(特定外来種)
ヒメモノアラガイ(大阪府RDB準絶滅危惧)
ヒラマキガイモドキ(環境省RL準絶滅危惧)
イボビル(環境省RL情報不足)
アメリカザリガニ(特定外来種)

槇尾川(芦部)

二級河川槇尾川外河川水辺環境調査業務委託(H19)

スクミリンゴガイ(特定外来種)
ヒメモノアラガイ(大阪府RDB準絶滅危惧)
アメリカザリガニ(特定外来種)

槇尾川(阪本)

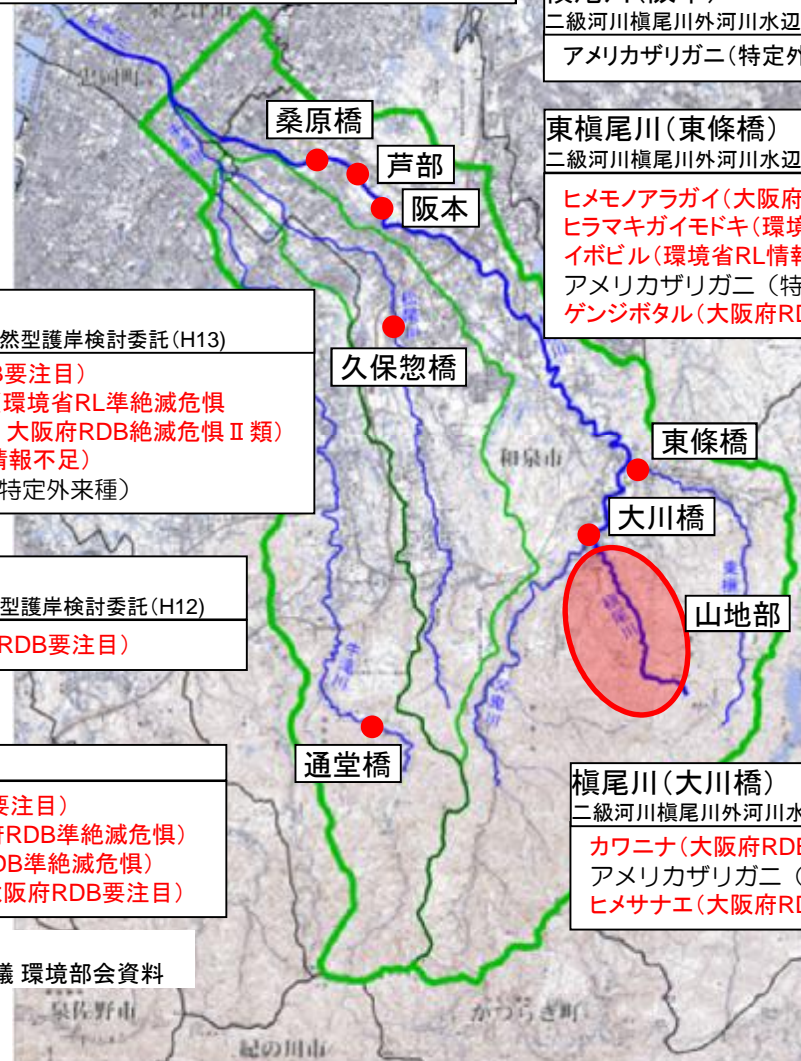
二級河川槇尾川外河川水辺環境調査業務委託(H19)

アメリカザリガニ(特定外来種)

東槇尾川(東條橋)

二級河川槇尾川外河川水辺環境調査業務委託(H19)

ヒメモノアラガイ(大阪府RDB準絶滅危惧)
ヒラマキガイモドキ(環境省RL準絶滅危惧)
イボビル(環境省RL情報不足)
アメリカザリガニ(特定外来種)
ゲンジボタル(大阪府RDB要注目)



槇尾川(大川橋)

二級河川槇尾川外河川水辺環境調査業務委託(H19)

カワニナ(大阪府RDB要注目)
アメリカザリガニ(特定外来種)
ヒメサナエ(大阪府RDB準絶滅危惧)

2. 大津川流域の特性

●自然特性（鳥類の状況）

鳥類については、榎尾川の全区間で確認されたコサギ、ツバメなどの他、大津川水系の広い範囲でコアジサシやチュウサギ等の貴重種が確認されています。

また、山地部ではクマタカ等の貴重種が確認されています。



チュウサギ



コアジサシ

榎尾川(上流部)H9.3調査
二級河川 榎尾川 治水計画検討委託 報告書 H13.3

コサギ
キジバト
カワセミ(大阪府RDB近畿RDB準絶滅危惧)
ツバメ
セグロセキレイ



H23クマタカ飛翔



H23ミサゴ 餌運び



	環境省RL	大阪府RDB	A	B	C	D	E	F
アカアシシギ	絶滅危惧II類	純絶滅危惧	○					
アカモズ	準絶滅危惧		○					
ウズラ		絶滅危惧I類		○				
オオジシギ	純絶滅危惧	純絶滅危惧	○	○				
オオタカ	絶滅危惧II類	絶滅危惧II類		○				
カラシラサギ			○					
クマタカ	絶滅危惧B類	絶滅危惧I類						○
クロツラヘラサギ	絶滅危惧IA				○			
クロトキ					○			
コアジサシ	絶滅危惧II類	絶滅危惧II類	○	○	○	○		
サンカノゴイ	絶滅危惧B類			○				
サンショウクイ	絶滅危惧II類	絶滅危惧II類				○		
セイタカシギ	絶滅危惧B類		○		○			
チュウサギ	準絶滅危惧	要注目	○	○				
トモエガモ		純絶滅危惧					○	
ハイタカ	純絶滅危惧	要注目	○		○	○		
ハチクマ	純絶滅危惧	絶滅危惧II類		○	○			
ハヤブサ	絶滅危惧II類	要注目	○		○			
ホウロクシギ	絶滅危惧II類		○					

大津川水系河川整備基本方針(大阪の野鳥VOL5.6/日本野鳥の会大阪支部 をもとに作成)

榎尾川(下流部)H9.3調査
二級河川 榎尾川 治水計画検討委託 報告書 H13.3

チュウサギ(環境省RL近畿RDB準絶滅危惧 大阪府RDB要注目)

コサギ
アオサギ
コチドリ(大阪府RDB絶滅危惧II類 近畿RDB準絶滅危惧)

ユリカモメ
コアジサシ(環境省RL大阪府RDB絶滅危惧II類 近畿RDB絶滅危惧)

キジバト
ツバメ
スズメ
ムクドリ
ハシボソガラス

榎尾川(中流部)H9.3調査
二級河川 榎尾川 治水計画検討委託 報告書 H13.3

ダイサギ
コサギ
アオサギ
カルガモ
コチドリ(大阪府RDB絶滅危惧II類 近畿RDB準絶滅危惧)
シロチドリ(大阪府RDB絶滅危惧II類 近畿RDB準絶滅危惧)
ケリ(大阪府RDB要注目)

ツバメ
キセキレイ
ウグイス
ハシボソガラス

榎尾川(山地部)重要な猛禽類のみ

ミサゴ(環境省RL大阪府RDB絶滅危惧II類)
ハチクマ(環境省RL大阪府RDB絶滅危惧II類)
オオタカ(環境省RL大阪府RDB絶滅危惧II類)
ツミ(大阪府RDB絶滅危惧II類)
ハイタカ(環境省RL大阪府RDB要注目)
ノスリ(大阪府RDB要注目)
サンバ(環境省RL大阪府RDB準絶滅危惧)
クマタカ(環境省RL大阪府RDB絶滅危惧I類)
ハヤブサ(環境省RL大阪府RDB要注目)
チョウゲンボウ(大阪府RDB準絶滅危惧)

(山地部)出典
榎尾川ダム基本設計会議 環境部会資料

環境省RL「日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト」
大阪府RDB「大阪府における保護上重要な野生生物」
近畿RDB「近畿地区鳥類レッドデータブック」

写真出典: 川の生物図典

2. 大津川流域の特性

●社会特性（人口）

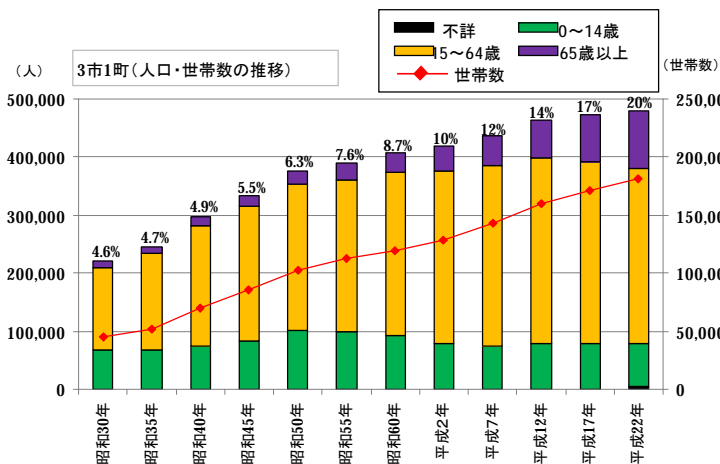
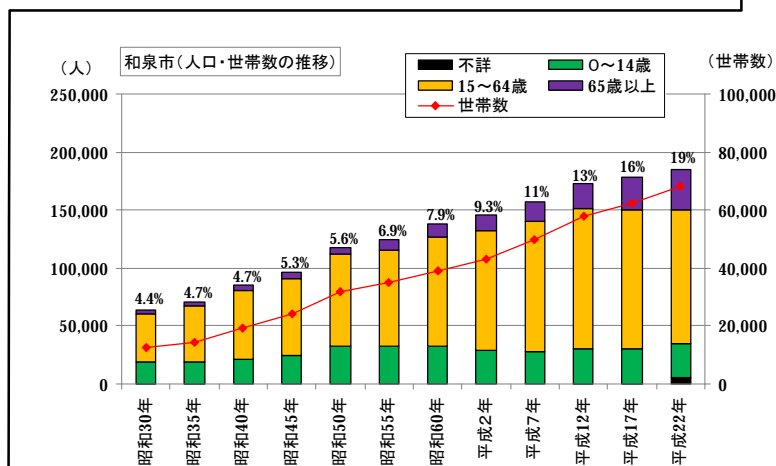
大津川流域は和泉市、岸和田市、泉大津市、忠岡町の3市1町にまたがっており、平成22年において3市1町の合計で人口約48万人、世帯数18万世帯となっています。

和泉市以外の市町では、人口は横ばい傾向にあります。

和泉市では、和泉中央丘陵の宅地整備と大阪都心部との交通アクセス環境の充実などを背景に人口が増加しており、平成22年国勢調査(速報値)では、大阪府の市町村で増加率が第2位(4.03%)になっています。

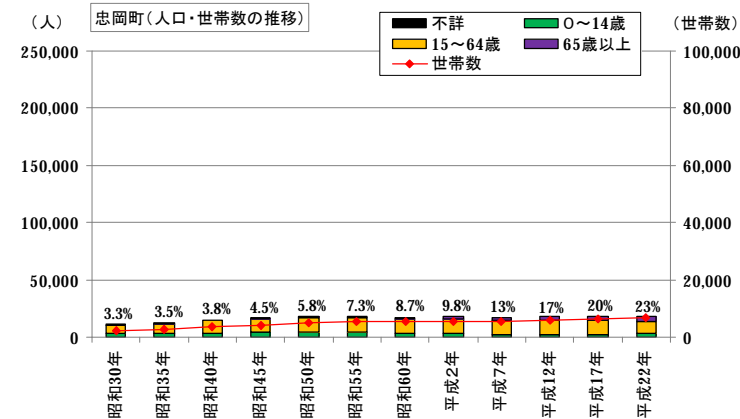
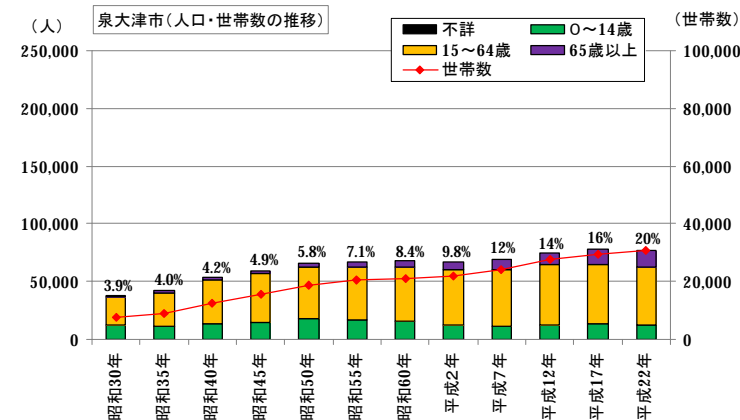
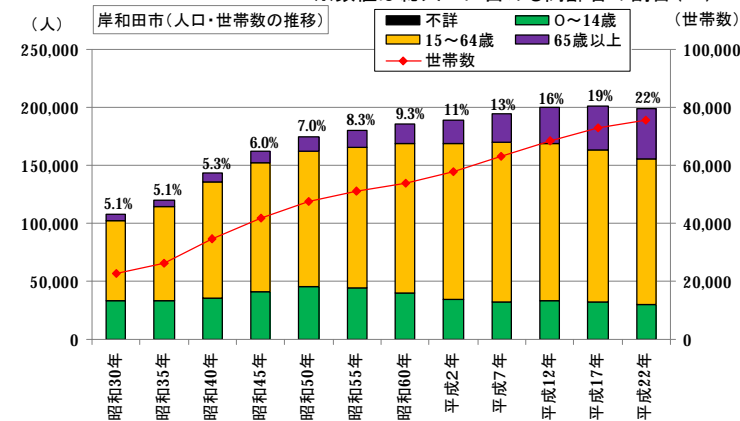
また、流域3市1町の総人口に占める高齢者の割合は年々増加しており、今後も増え続けることが予測されます。

出典：国勢調査
※平成22年は速報値



人口・世帯数の推移

※数値は総人口に占める高齢者の割合(%)

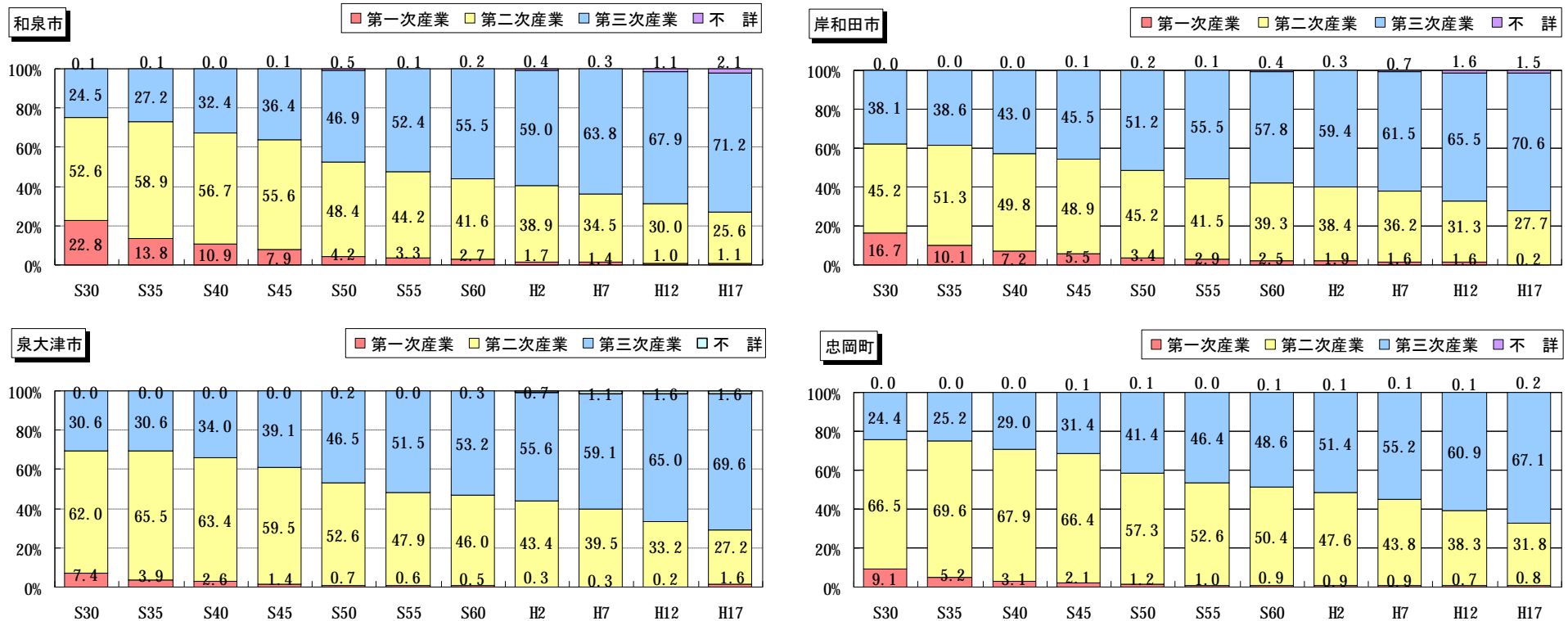


2. 大津川流域の特性

●社会特性（産業）

流域3市1町の産業別就業者数は、いずれの市町でも第三次産業の割合が増加傾向にあり全体の7割程度となっています。第一次産業、第二次産業については、いずれの市町においても減少傾向となっています。

産業別就業者の構成比



出典：国勢調査

2. 大津川流域の特性

●社会特性（地場産業）

泉州地方は古くからの綿スフ織物※¹産地で、我が国四大産地※²の一つです。その他の地場産業としては、和泉市は人工真珠やガラス工芸、岸和田市はだんじり産業、泉大津市は毛布の生産、忠岡町では木材加工業が挙げられます。

和泉市の地場産業

出典：和泉市HPいずみ観光ナビ

和泉市では、ガラスやプラスチックを原玉とした人工真珠が有名で、世界の国々においても日本の代表的なアクセサリーとして知られています。また、和泉市では古くからガラス工芸が発達しており、現在でも重要な地場産業となっています。



泉大津市の地場産業

出典：泉大市HP、泉大津商工会議所HP

泉大津を支える繊維産業は、綿織物に始まりますが、資本家と労働者の分業というマニュファクチュアを我が国で最も早くに始めたと言われていました。また、毛布の生産は、全国シェアの98%となっています。



岸和田市の地場産業

出典：岸和田市HP 岸ナビ

岸和田市は、泉州綿織物を主とする紡織工業都市として発展しましたが、金属、機械器具、レンズ工業も行われています。また、全国的に有名な「だんじり祭り」を中心として地車、ハッピー、うちわ等を制作するだんじり産業にも力を入れています。



忠岡町の地場産業

出典：忠岡町HP

忠岡町の産業は、紡績関係の大工場が進出する中、古くから毛布、セーター、ニット製品の製造・加工業を中心に栄えてきました。昭和40年代に入ってから、臨海部に木材コンビナートが造成され、木材加工業も盛んになっています。



※1)綿スフ織物は、綿、スフ、合成繊維(短繊維)からなる紡績糸を素材とする織物で、衣服、寝装品、シーツ、産業資材、浴衣、ガーゼ等の生地に利用されます。(大阪府商工労働部HP)
注意)スフとは、ステープル・ファイバーの略で化学繊維を紡績用に短く切りカールした、繊維のことで、特に、ビスコースレーヨンからつくったものをさします。

※2)大阪府、兵庫県、愛知県、静岡県

2. 大津川流域の特性

●社会特性（土地利用）

流域3市1町のうち、流域面積の約98%を占める和泉市と岸和田市の土地利用としては、和泉市では、昭和49年と平成21年と比較すると、農用地が半分以下となり、道路や宅地が倍以上に増加しています。岸和田市においても、和泉市より増減割合が小さいものの同様の傾向を示しています。

平成21年の大阪府全体と比較すると、和泉市、岸和田市とも農用地の占める割合が高く、道路や宅地の占める割合が低くなっています。

■土地利用区別面積									上段：	面積(ha)
土地利用区分	昭和49年	昭和54年	昭和59年	平成元年	平成6年	平成11年	平成16年	平成21年	下段：	割合
和泉市	農用地	2,094	1,887	1,668	1,458	1,238	996	865	918	
		24.5%	22.1%	19.5%	17.2%	14.5%	11.7%	10.2%	10.8%	
	森林	3,439	3,360	3,451	3,421	3,457	3,402	3,341	3,287	
		40.3%	39.3%	40.4%	40.3%	40.6%	40.0%	39.3%	38.7%	
	原野	302	302	157	194	177	177	177	165	
		3.5%	3.5%	1.8%	2.3%	2.1%	2.1%	2.1%	1.9%	
	水面・河川・水路	301	295	285	278	273	263	261	264	
		3.5%	3.5%	3.3%	3.3%	3.2%	3.1%	3.1%	3.1%	
道路	193	228	263	300	346	373	430	449		
	2.3%	2.7%	3.1%	3.5%	4.1%	4.4%	5.1%	5.3%		
宅地	683	1,050	1,124	1,146	1,205	1,300	1,388	1,503		
	8.0%	12.3%	13.2%	13.5%	14.2%	15.3%	16.3%	17.7%		
その他	1,532	1,422	1,596	1,700	1,817	1,988	2,037	1,912		
	17.9%	16.6%	18.7%	20.0%	21.3%	23.4%	24.0%	22.5%		
合計	8,544	8,544	8,544	8,497	8,513	8,499	8,499	8,498		
岸和田市	農用地	1,865	1,740	1,571	1,407	1,294	1,083	952	890	
		26.7%	24.8%	22.2%	19.6%	18.0%	15.1%	13.2%	12.3%	
	森林	1,957	1,881	1,879	1,963	1,947	1,927	1,926	1,917	
		28.0%	26.8%	26.5%	27.4%	27.0%	26.8%	26.7%	26.5%	
	原野	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	水面・河川・水路	364	355	351	344	345	337	336	327	
		5.2%	5.1%	5.0%	4.8%	4.8%	4.7%	4.7%	4.5%	
道路	304	348	387	417	511	524	577	594		
	4.3%	5.0%	5.5%	5.8%	7.1%	7.3%	8.0%	8.2%		
宅地	1,128	1,264	1,411	1,487	1,571	1,637	1,675	1,732		
	16.1%	18.0%	19.9%	20.7%	21.8%	22.8%	23.2%	24.0%		
その他	1,379	1,441	1,486	1,552	1,531	1,681	1,743	1,764		
	19.7%	20.5%	21.0%	21.6%	21.3%	23.4%	24.2%	24.4%		
合計	6,997	7,029	7,085	7,170	7,199	7,189	7,209	7,224		
大阪府合計	農用地	24,675	22,361	20,164	18,522	17,364	15,591	14,598	14,054	
		13.3%	12.0%	10.8%	9.8%	9.2%	8.2%	7.7%	7.4%	
	森林	62,117	59,539	59,107	59,304	58,953	58,593	58,354	57,880	
		33.5%	32.0%	31.7%	31.5%	31.2%	31.0%	30.8%	30.5%	
	原野	305	305	157	194	177	177	178	165	
		0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	
	水面・河川・水路	10,387	10,169	10,101	10,052	10,029	10,177	10,128	10,100	
		5.6%	5.5%	5.4%	5.3%	5.3%	5.4%	5.3%	5.3%	
道路	10,666	12,715	13,928	14,476	15,357	15,997	16,937	17,466		
	5.8%	6.8%	7.5%	7.7%	8.1%	8.5%	8.9%	9.2%		
宅地	46,270	51,290	53,518	54,934	56,973	58,183	59,206	60,255		
	24.9%	27.5%	28.7%	29.2%	30.1%	30.7%	31.3%	31.7%		
その他	31,048	29,922	29,711	30,758	30,321	30,561	29,975	29,881		
	16.7%	16.1%	15.9%	16.3%	16.0%	16.1%	15.8%	15.7%		
合計	185,468	186,301	186,686	188,240	189,174	189,279	189,376	189,801		

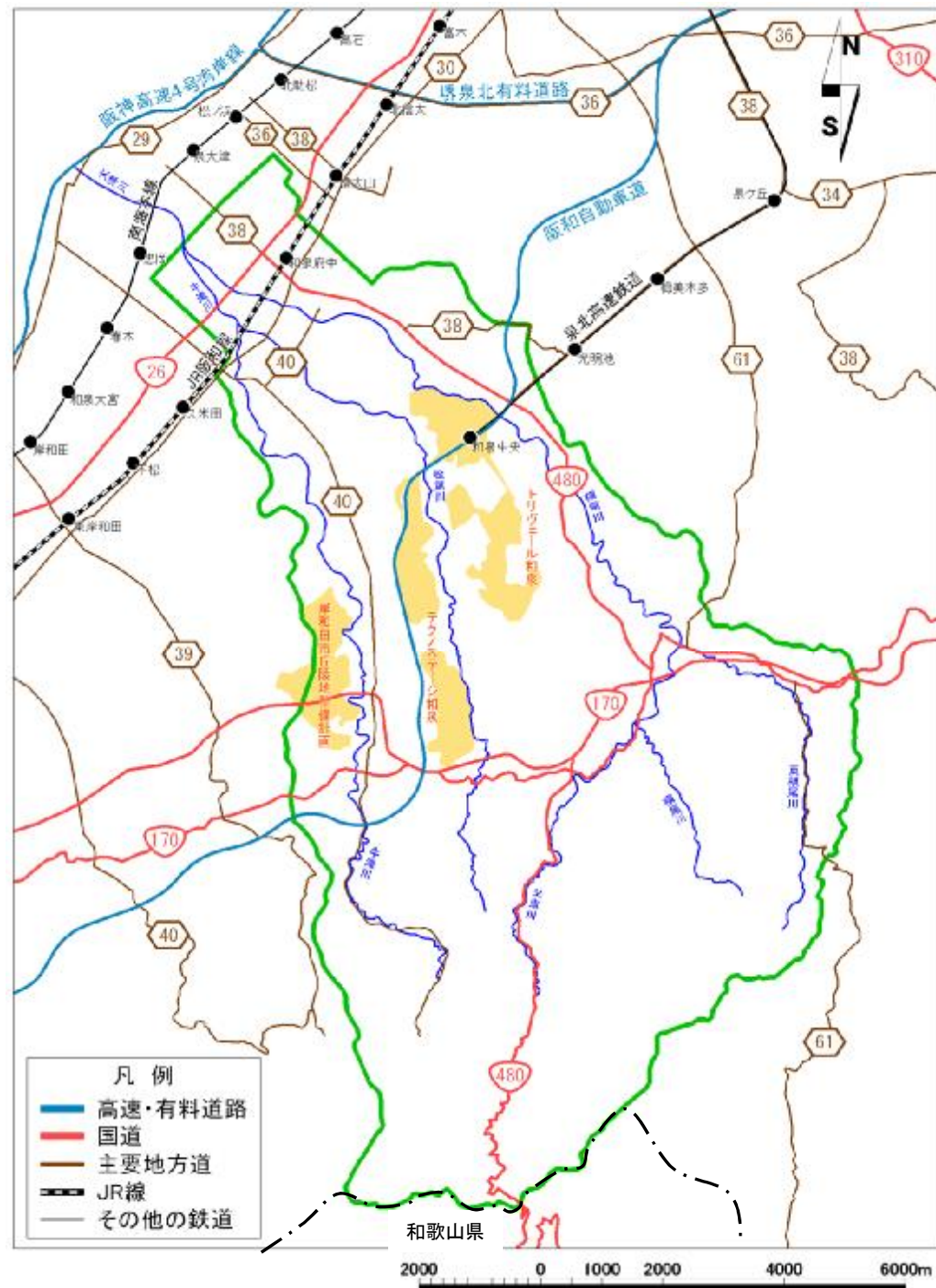
(出典：大阪府 平成22年度版 国土利用計画関係資料集)

2. 大津川流域の特性

●交通

交通は、下流の低地部では大阪と和歌山を結ぶ南海本線、国道26号、JR阪和線といった交通網が従来から基幹を成していたものの、昭和30年代以降の大阪湾沿岸の臨海工業地の発達等により、道路における慢性的な渋滞が見られるようになり、高速道路等の整備が進められ、阪和自動車道（平成5年）や阪神高速湾岸線（平成6年）が開通しています。

また、上流の山沿いを国道170号（大阪外環状線）が通過するほか、国道480号は父鬼川に沿って和歌山へ通じています。



2. 大津川流域の特性

●歴史・文化・観光

流域の歴史は古く、弥生・古墳時代に遡り、国指定の史跡である池上・曾根遺跡（いけがみそねいせき）、摩湯山古墳（まゆやまこふん）や「和泉」という名の由来と言われる泉井上神社の和泉清水等の遺跡が点在しています。また、弥生時代の環濠集落とされる池上・曾根遺跡は、当時の建物が復元され「池上曾根遺跡史跡公園」として整備されるなど、歴史を伝える取り組みが成されています。

自然景観資源としては、「大阪府自然環境情報図／環境庁（1989）」に「槇尾山」や「側川溪谷（そばかわけいこく）」があげられています。

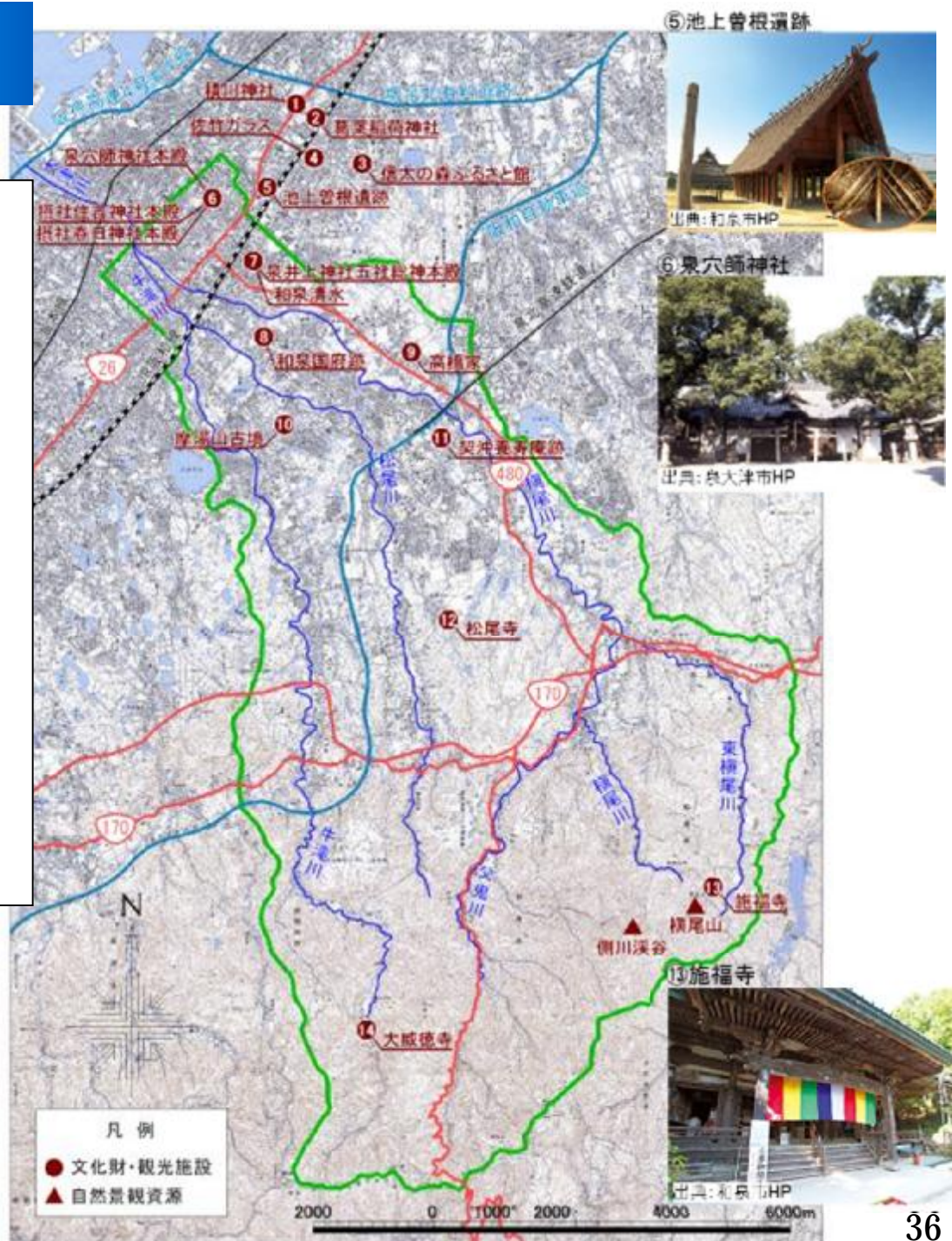


側川溪谷 清水ノ滝



槇尾山山頂(右)

出典：泉北ぐるりんウォーキングWebサイトガイド



流域周辺の文化財・観光施設の概要

No.	施設名	説明
1	積川神社(つがわじんじや)	延喜式内社。中世以前には和泉国内有数の大社で和泉五社の一社に数えられている。もともとは牛滝川上流の水利神として地域住民の信仰を集めた神社であったと考えられている。豊臣秀頼が再建したという本殿は三間社流造・正面千鳥破風付・桧皮葺きで国指定重要文化財。また神体である木造男神像8体(鎌倉期)と、熊野街道に面して立つ暹羅鳥居に懸けられていた白河院宸筆と伝えられる木造簷額は府指定文化財。この他、淀君奇進と伝える神輿も安置されている。
2	葛葉稲荷神社	安倍晴明が信太の森の白狐を母として生まれたという「葛の葉伝説」の舞台として知られている。境内にあるクスの巨木は市の天然記念物に指定されている。
3	信太の森ふるさと館	平安時代から名を知られた信太の森にある鏡池は、安倍晴明の母である信太の白狐と父・保名との出会いと別れの場として有名。信太の森ふるさと館は、この周辺の歴史、文化と自然を紹介し、学習する施設。
4	佐竹ガラス	日本で唯一の工芸用色ガラス棒生産工場で、工場の建物群は国の登録有形文化財。ガラス棒からは人造真珠や模造宝石などが作られる。
5	池上曽根遺跡	全国屈指の規模と内容を誇る弥生時代の集落遺跡で総面積は約60万㎡と推定され、その中心部は国の史跡に指定されている。公園内には復元された建物や学習館などがある。
6	泉穴師神社本殿(いずみあなしじんじや) 撰社住吉神社本殿 撰社春日神社本殿	市内にある最大の神社で、天武白鳳元年(672)の創建と伝えられている。本殿、撰社住吉神社本殿、春日神社本殿は重要文化財に指定されており、中でも住吉神社本殿は府内最古の神社本殿と言われている。境内の高さ20～33mに達するクス12本は市指定天然記念物で、これらの大木群を含む神社の景観は、江戸時代と大きく変わらず往時の姿を色濃くとどめている。
7	泉井上神社 和泉清水	"和泉の地名の起りとなったと伝わる「和泉清水」を祀っている。境内にある和泉五社総社は、大鳥・穴師・聖・積川・日根の和泉五社を勧請して祀った神社で、本殿は国の重要文化財に指定されている。この泉は神功皇后が新羅から帰還した際に一夜にして湧き出したのでこれを瑞祥として霊泉と呼び、宮を設けその後そのほとりに社殿を造営したと伝わる。今では、ほとんど枯渇し湧き水は夏期に出るのみであるが、かつてはその豊かな水量を下流の水田の灌漑に利用し、和泉国の農業開発に大きな役割を果たしてきた。神社は地理的要所にあり、716年当時、まだ河内国として一括して扱われていた大鳥群、和泉群、日根群を和泉宮設置のため分離して和泉監が置かれ、その監衙がこの地に設けられた。その後和泉監はいったん廃止されたが、757年同じ三群によって和泉国が設置され、その国衙が同じ場所に設けられて泉井上神社はその中央に位置することになった。"
8	和泉国府跡	和泉は757年、河内国から大鳥・和泉・日根三郡が分かれて和泉国となり、それ以降5畿内(山城・大和・河内・和泉・摂津)の一国として後世に及んだ。和泉国では、現在の府中町に行政府である国府が置かれ、和泉国の得名となった由緒ありと伝える清水を中央に備え泉井上神社をこれに配し、四圍に官衙・倉庫群さらにはふるい行官の地・寺院を置いて営まれていた。このあたりは御館山あるいは御館の森と呼ばれ、政治・文化の中心地として栄えた。泉井上神社の近くにある御館山児童公園の一角に和泉国府跡の碑が建てられている。
9	高橋家	この住宅は江戸時代後期に火災で土間を焼失したが、居室部および座敷は古い。座敷は三室からなり、その主室および次の間は太い柱で書院風の意匠が見られる。この住宅は十七世紀中期の建設と推定され、異色の遺例として貴重である。
10	摩湯山古墳(まゆやまこふん)	4世紀後半頃の前方後円墳で墳丘全長約200m、後円部径約127mに及び、前期古墳としては大和地方以外では最大級の規模で、国の史跡に指定されている。かつて緒付円筒埴輪などが採集されているが、本格的な調査は未だ行われていない。4世紀後半頃に泉州地域で大きな勢力をもった在地首長の墳墓と推定されている。
11	契沖養寿庵跡	「国学の祖」と呼ばれる契沖が和泉で過ごした時起居した養寿庵跡は、府の史跡に指定されており、また石尾中学校前には、佐々木信綱博士の筆による「国学発祥の地」の記念碑が建てられている。
12	松尾寺	"白鳳時代に役行者が如意輪観音の像を刻んで安置したことが寺の起りと言われており、戦国時代、織田信長に敗れ諸堂宇は破却されたが、豊臣秀頼により再建された。境内と本堂は府の指定文化財、「如意輪陀羅尼經」、「孔雀経曼荼羅図」は国の重要文化財に指定されており、多くの文化財が保存されている。また、府の天然記念物に指定されているクスは市内最大の巨木で、樹齢約700年、高さが38mある。桜・紅葉の名所として知られる他、一帯は公園として整備されツバキやボタンの花園が訪れる者を楽しませてくれる。"
13	施福寺	槇尾山山頂近くにある天台宗の寺院で、西国三十三ヶ所の第四番札所として広く信仰を集めており、寺宝「槇尾山大縁起」は国の重要文化財に指定されている。
14	大威徳寺(だいいとくじ)	もみじの名勝牛滝山として知られる山岳寺院。現在は天台宗であるが、近世以前は真言・天台兼学寺院であった。役行者の開創と伝えられ、古来、葛城修験の一霊場として崇敬された。境内にたつ多宝塔(室町時代)は国の重要文化財に指定されている。

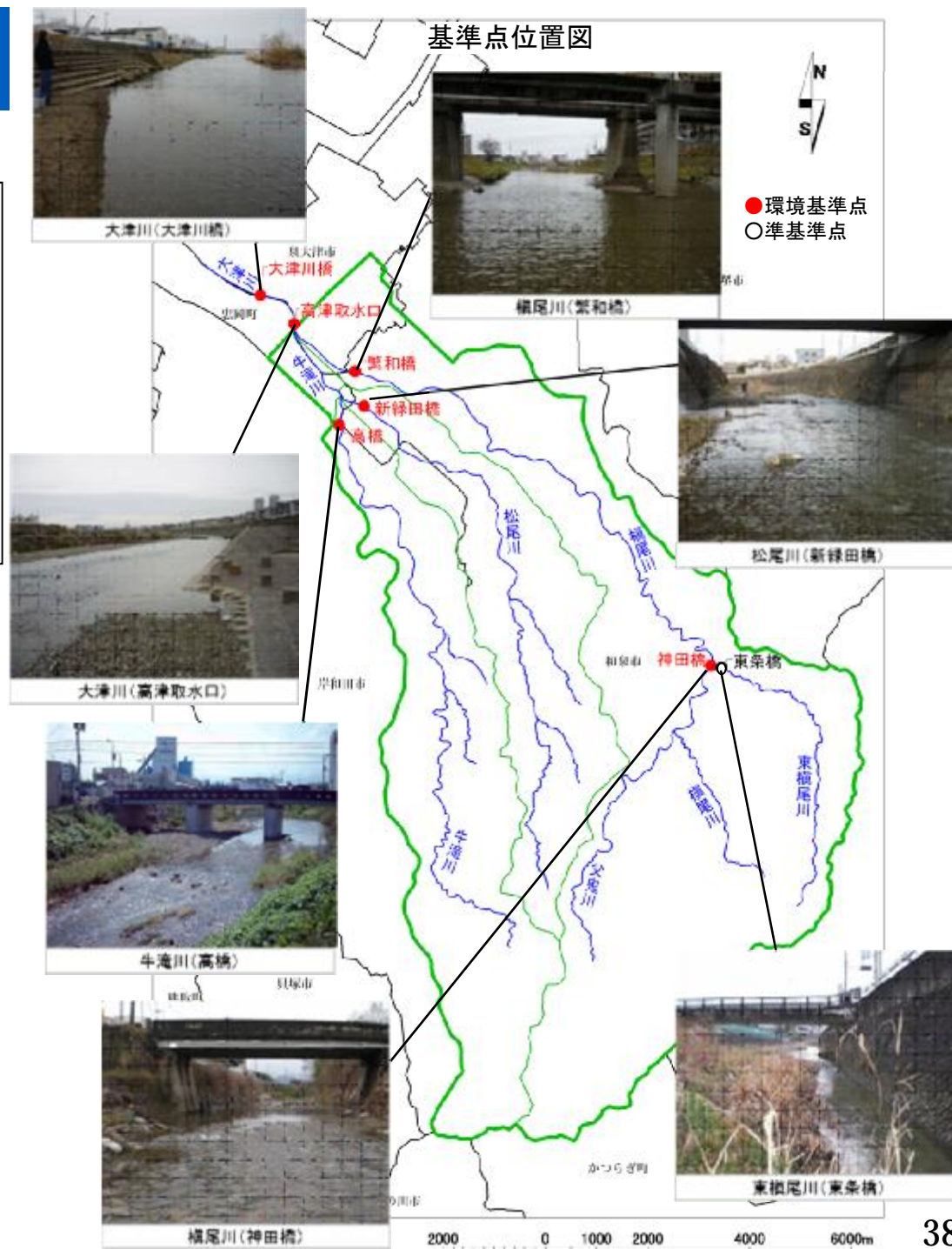
2. 大津川流域の特性

●水環境（水質）

河川の汚濁指標であるBOD(生物化学的酸素要求量)75%値で評価すると、下水道普及率の上昇とともに、経年的に水質の改善が進んでおり、平成22年時点では大津川(高津〔たかつ〕取水口)と松尾川(新緑田橋)を除いて環境基準を満足しています。

各河川の水質汚濁に係る環境基準

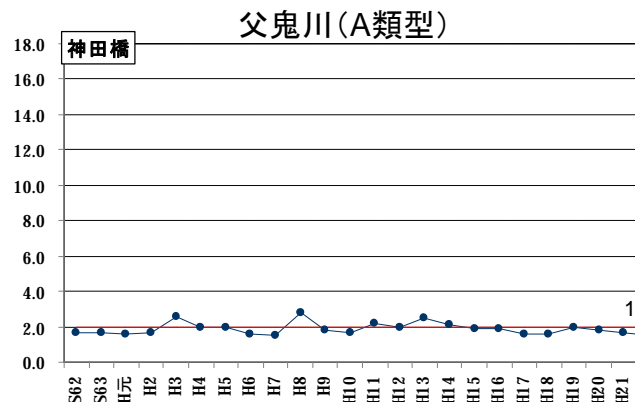
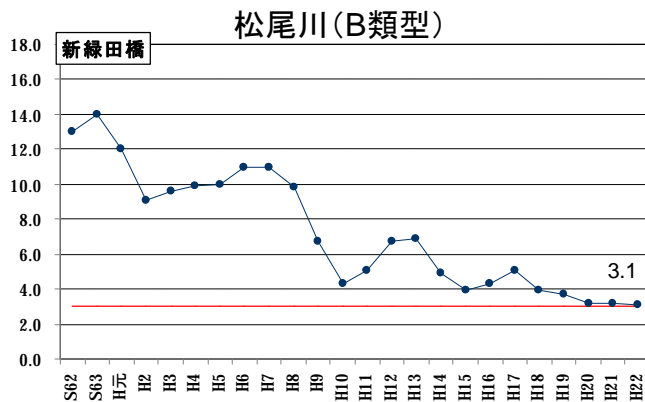
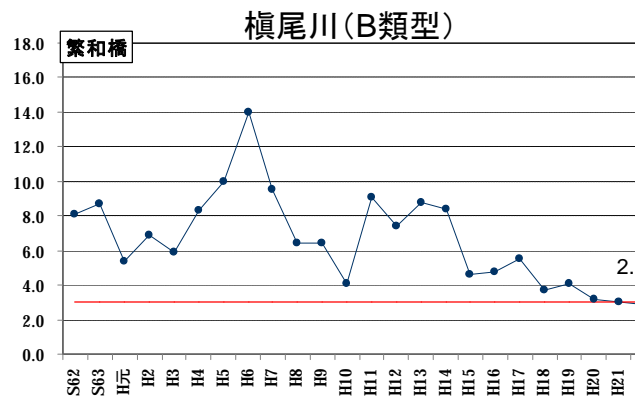
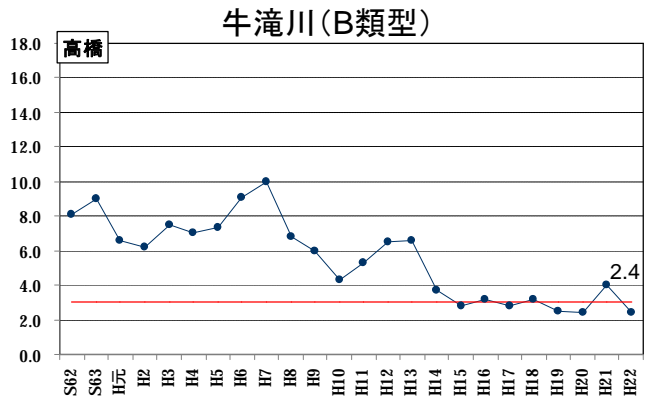
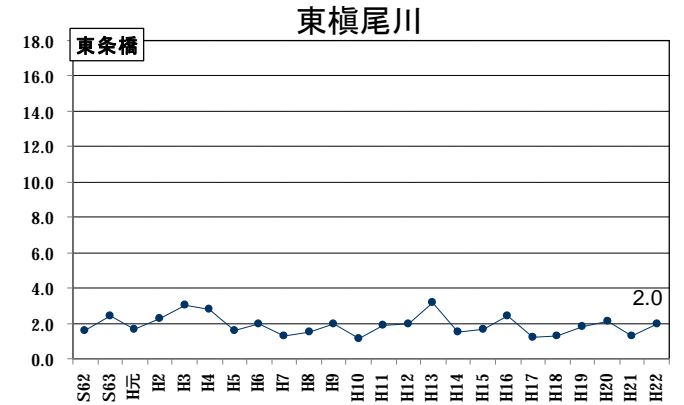
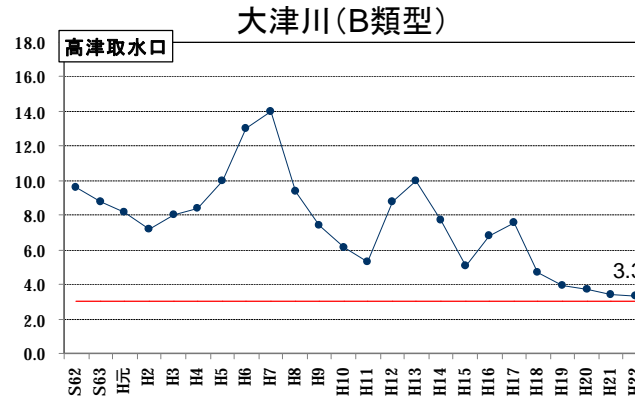
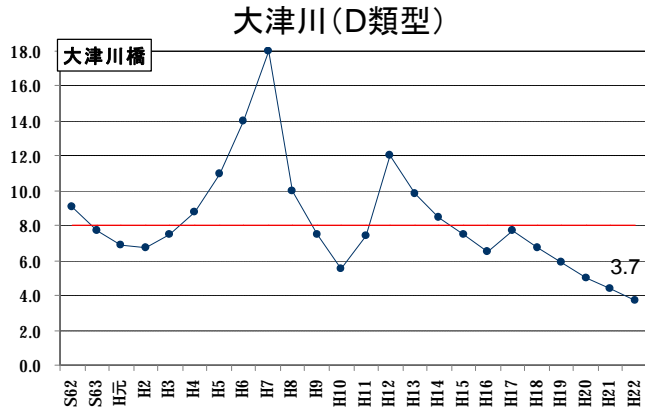
河川名	範囲	該当類型	BOD
大津川上流	泉大津市高津取水口より上流	B	3mg/l以下
大津川下流	泉大津市高津取水口より下流	D	8mg/l以下
牛滝川	全域	B	3mg/l以下
松尾川	全域	B	3mg/l以下
槇尾川	全域	B	3mg/l以下
父鬼川	全域	A	2mg/l以下



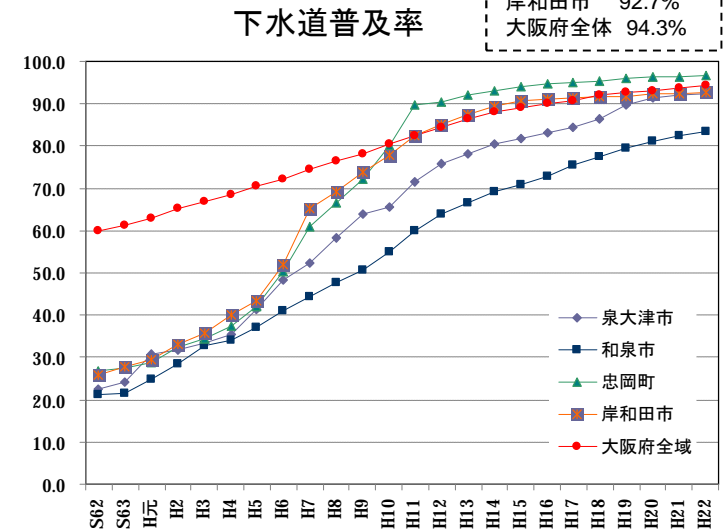
2. 大津川流域の特性

●水環境（水質）

BOD75%値経年変化



H22下水道普及率
 泉大津市 92.3%
 和泉市 83.5%
 忠岡町 96.6%
 岸和田市 92.7%
 大阪府全体 94.3%



2. 大津川流域の特性

主な農業用取水施設一覧

●水利用（水利権関係）

河川の水利用は、水道用及び工業用水を始め古くから灌漑用水として利用されており、この水道・灌漑用水を取水するための農業用取水堰が数多く設置されています。大津川流域は比較的降雨量が少なく、夏の稲の育成時には、水不足をきたすことから、その対策として古くから灌漑用のため池も多く設けられています。



出典：慣行水利権の実態(平成6年3月末)

取水施設位置図

No.	河川名	井堰名	取水場所	
1	大津川	深田井堰	忠岡町忠岡東	
2		島代井口	泉北郡忠岡町忠岡1582番地先	
3	横尾川	久保津土井堰	和泉市観音寺町	
4		河々頭井堰	和泉市阪本町	
5		東代揚水堰	和泉市笠形町849番地先	
6		太田井堰	和泉市池田下町	
7		一之井井堰	和泉市和田町	
8		光明池取水堰	和泉市国分寺	
9		車湯取水口	和泉市下宮町72番地先	
10		神田井堰	和泉市北田中町29番地先	
11		小野田井堰	和泉市小野田町736番地先	
12		籠池堰取水口	和泉市仏並町地内	
13		新池堰取水口	和泉市仏並町地内	
14		一ノ湯井堰取水口	和泉市仏並町地内	
15		父鬼川	二ノ井取水口	和泉市仏並町1027番地先
16			一之井堰	和泉市仏並町1116番地
17	芋谷取水口		和泉市父鬼町979番地先	
18	小別当取水口		和泉市父鬼町715番地先	
19	東横尾川	駒治郎井堰	和泉市北田中町353の1番地先	
20		八の坪堰	和泉市福瀬町778番地先	
21		川側堰	和泉市岡町904番地先	
22		上寺用水取水口	和泉市福瀬町631番地先	
23		井の口井堰	和泉市善正町135番地先	
24		山田井堰	和泉市善正町139番地先	
25	野々井水利取水口	和泉市善正町90番地		
26	松尾川	喜田井堰	和泉市小田町27番地先	
27		梅井堰	和泉市小田町新出673番地先	
28		尾井堰	和泉市箕形町上垣戸770番地先	
29		寺田取水口	和泉市箕形町	
30		拂イ俗ポンプ	和泉市内田町1087番地先	
31		嶋ノ向堰	和泉市久井町	
32	牛滝川	物の井堰	忠岡町高月北	
33		松田井堰	忠岡町高月南	
34		三田井樋門	岸和田市西大路町	
35		牛神井堰	岸和田市今木町327～373	
36		奥河原井堰	岸和田市今木町399～308	
37		平田井堰	岸和田市田治米町629番地先	
38		祝井堰	岸和田市田治米町625～595	
39		祝ノ井堰取水口	岸和田市田治米町	
40		田治米井堰	岸和田市三田町1758	
41		久米田池用水取水口	岸和田市三田町	
42		岡山井堰	岸和田市三田町小倉	
43		三田井堰	岸和田市山直中町	
44		包近井堰	岸和田市稲葉町	
45		稲葉井堰	岸和田市積川町	
46		梅井井堰	岸和田市内畑町	
47		大藪井堰	岸和田市内畑町	
48		市ノ井牛滝川井堰	岸和田市内畑	
49		荒井湯井堰	岸和田市大沢町14	
50	大阪湯井堰	岸和田市大沢町51-1		
51	春日湯井堰	岸和田市大沢町221		
52	堂前湯井堰	岸和田市大沢町516		
53	大木森井堰	岸和田市内畑		
54	ザット井堰	岸和田市大沢町515		
55	下露湯井堰	岸和田市大沢町715		
56	大湯井堰	岸和田市大沢町1058		
57	西端湯井堰	岸和田市大沢町1110		



許可水利権

No.	河川名	施設名称	水利権量 (m³/s)	目的
58	牛滝川	忠岡井堰	0.028	忠岡町上水

出典：許可水利権台帳

2. 大津川流域の特性

●空間利用（アドプト・リバー・プログラム等）

河川空間の利用状況としては、大津川の両岸や榎尾川下流部などで高水敷を公園として整備しており、特に、大津川では泉大津市・忠岡町により管理され、沿川住民に利用されています。

また、平成22年度末時点において、大津川水系では21箇所アドプト・リバーの認定団体による河川の清掃等が行われ、学校等との協働による小学生を対象とした「水辺の学校」も開催されています。



平成23年3月1日現在（認定順） 大阪府都市整備部河川室河川環境課HPより

番号	名称	河川名	実施場所	団体名	協定締結日
1	アドプト・リバー・大津川	二級河川 大津川	泉大津市	大津川に花と緑の会	H14.4.23
2	アドプト・リバー・南横山	二級河川 父鬼川	和泉市	南横山校区町会連合会	H14.5.23
3	アドプト・リバー・かわねか	二級河川 牛滝川	岸和田市	牛滝川を守る包近の会	H14.7.28
4	アドプト・リバー・内田	二級河川 松尾川	和泉市	内田町町内会	H14.7.29
5	アドプト・リバー・芦部	二級河川 榎尾川	和泉市	芦部町有志の会 和泉・夢と歴史をつくる会	H15.7.30
6	アドプト・リバー・井ノ口	二級河川 榎尾川	和泉市	和泉市井ノ口町内会	H16.3.25
7	アドプト・リバー・和気町	二級河川 榎尾川	和泉市	ガールスカウト大阪府第28団	H16.3.25
8	アドプト・リバー・板原	二級河川 榎尾川	泉大津市	ホテルカミーノ 泉大津店	H16.3.29
9	アドプト・リバー・大津川	二級河川 大津川	泉大津市	大津川クリーンアッププロジェクト	H16.7.20
10	アドプト・リバー・河原町	二級河川 大津川	泉大津市	住友ゴム工業株式会社 泉大津工場	H17.10.21
11	アドプト・リバー・大津川	二級河川 大津川	泉大津市	川の会	H17.10.21
12	アドプト・リバー・板原	二級河川 榎尾川	泉大津市	株式会社 ポディーオートマエカフ	H18.6.30
13	アドプト・リバー・板原	二級河川 榎尾川	泉大津市	深喜毛織 株式会社	H18.7.24
14	アドプト・リバー・板原	二級河川 榎尾川	泉大津市	株式会社 フジワラ	H18.7.24
15	アドプト・リバー・いぶぎ野	二級河川 榎尾川	和泉市	和泉市いぶぎ野小学校	H18.9.13
16	アドプト・リバー・板原	二級河川 榎尾川	泉大津市	ホテルサウサリートの青い風	H19.7.18
17	アドプト・リバー・清水町	二級河川 大津川	泉大津市	株式会社ミュージュアル	H20.10.22
18	アドプト・リバー・かわなか	二級河川 榎尾川	和泉市	川中町会・なごみ会	H20.12.17
19	アドプト・リバー・今福A団地	二級河川 松尾川	和泉市	いずみ今福A団地管理組合及び福寿会	H22.3.31
20	アドプト・リバー・河原住宅	二級河川 大津川	泉大津市	河原住宅	H22.9.30
21	アドプト・リバー・小田町	二級河川 松尾川	和泉市	りんらんグループ	H22.11.30



アドプト・リバー・内田



水辺の学校（榎尾川）

アドプト：地元自治会や団体が自主的に清掃や緑化等のボランティア活動を実施する場合に大阪府と関係市町村が支援し、三者が協力して地域に愛されるきれいな環境づくりや地域の環境美化に取り組むことを目的としています。

2000 0 1000 2000 4000 6000m

3. 治水事業の概要

○治水事業の沿革

- 昭和27年7月豪雨による大出水を契機に災害復旧事業に着手。
- 昭和46年、基準地点高津における基本高水を1,300m³/sとする大津川水系の全体計画を定める。
大津川の中小河川改良事業（築堤・掘削）に着手
槇尾川、東槇尾川、松尾川等の小規模河川改修事業に着手
- 昭和57年8月の台風10号の出水により、甚大な被害が発生。
※床上浸水168戸、床下浸水5,526戸
この出水を契機に大津川、東槇尾川、松尾川等で改修の計画対象区間を位置け。
- 平成7年7月の梅雨前線豪雨により、和泉市で床上浸水が発生。
※床上浸水11戸、床下浸水60戸
- 平成13年3月大津川水系河川整備計画を策定。
- 現在、大津川では概ね100年に一度程度で発生する規模の整備は完成。
大津川以外の河川では、50ミリ対策が未完成の区間が残される。
- 近年においても、出水による護岸崩壊などの河川施設の被害が発生している。

近年の災害(公共土木施設災害復旧事業費に関するもの)

単位:件

年 度	槇尾川	牛滝川	松尾川	原 因
平成11年度	1	6	3	平成11年6月22～7月4日 梅雨前線豪雨
平成13年度	1	2	2	平成13年10月1日 豪雨
平成19年度	1	-	2	平成19年7月5日～17日 梅雨前線豪雨及び台風4号 平成19年8月19日～23日 豪雨
平成23年度	-	-	1	平成23年8月30日～9月7日 台風12号及び豪雨



平成23年度 松尾川(冬堂橋下流右岸被災状況)

3. 治水事業の概要

●治水事業の沿革

○昭和27年7月豪雨による被害

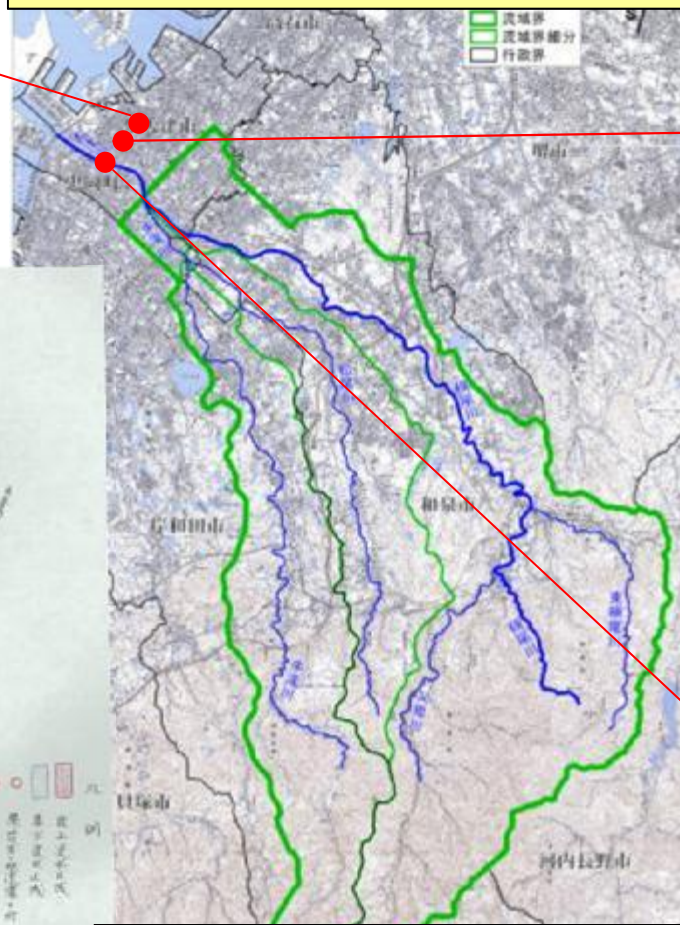
被害は、堺市、岸和田市を中心に発生し、大阪市、堺市など7市2郡に災害救助法が適用された。死者41名、浸水192238戸に及んだ。
(大津川水系河川整備基本方針参考資料より)



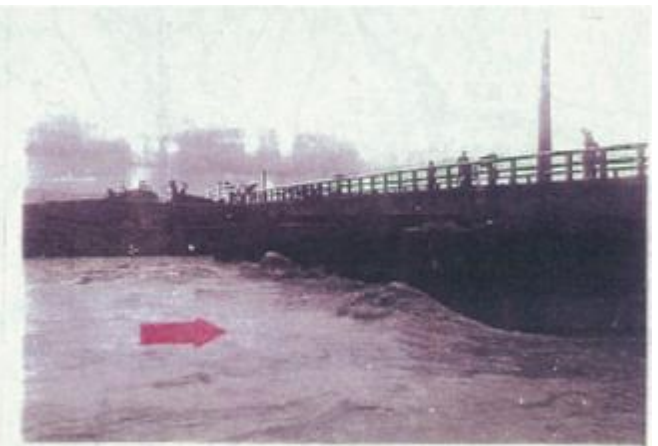
泉大津市役所玄関（泉大津市）



南海泉大津駅構内（泉大津市）



S27. 7. 10
岸和田観測所(气象台) 362. 5mm/日



大津川（楯並橋上流）（泉大津市）

2000 0 1000 2000 4000 6000m

3. 治水事業の概要

●治水事業の沿革

○昭和57年8月台風10号豪雨による被害



槇尾川泰成橋下流(和泉市池田下町)

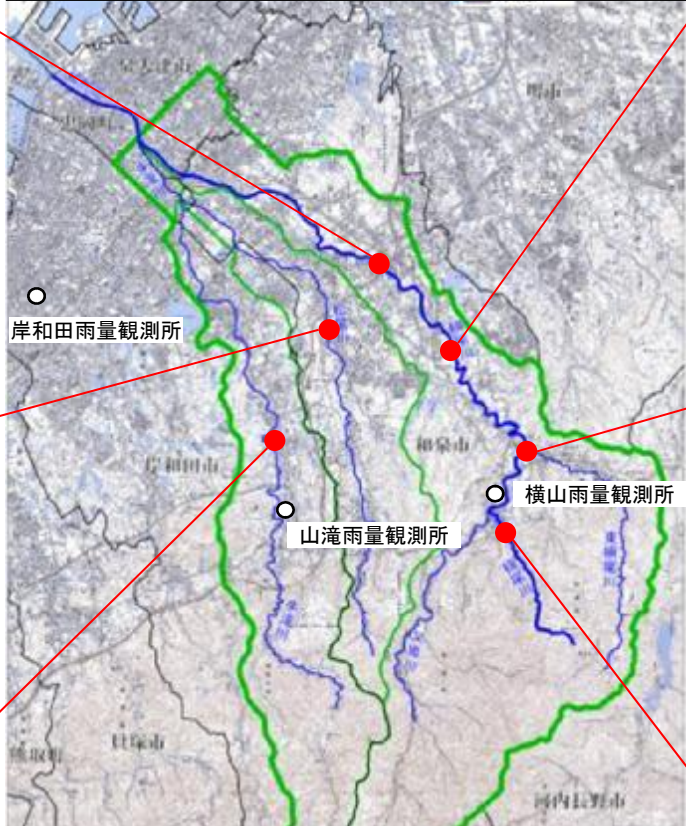


松尾川高橋下流(和泉市内田町)



牛滝川(岸和田市稲葉町)

大津川流域では、和泉市で負傷者2名、家屋全壊2戸、半壊2戸、一部損壊11戸
床上浸水168戸、床下浸水5526戸に及んだ。
(大津川水系河川整備基本方針参考資料より)



昭和57年8月					
観測所		7/31	8/1	8/2	計
横山	日雨量	37.0	194.0	157.0	388.0
	時間最大雨量	17.0	37.0	29.0	-
岸和田	日雨量	27.0	110.0	146.0	283.0
	時間最大雨量	19.5	18.5	35.0	-

※山滝雨量観測所は故障中



槇尾川川中橋下流(和泉市三林町)



槇尾川神田橋上流(和泉市下宮町)



槇尾川地藏橋下流(和泉市坪井町)

3. 治水事業の概要

● 治水事業の沿革



槇尾川国府河頭（こくふこうず）井堰付近(和泉市阪本町)

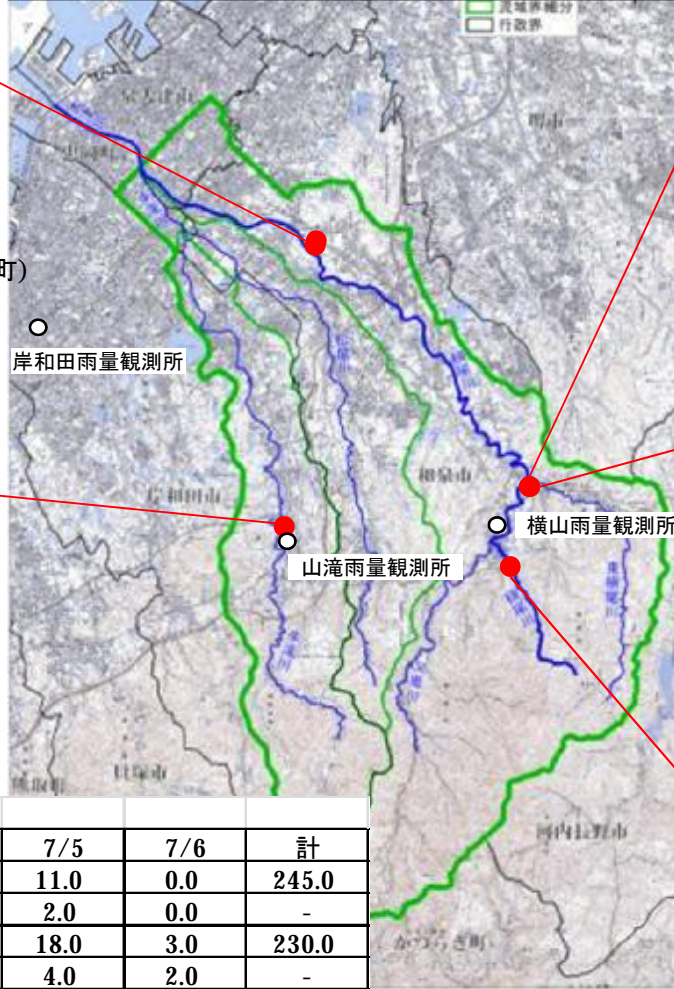


牛滝川(岸和田市積川町)

○ 平成7年7月豪雨による被害

大津川流域では、床上浸水11戸、床下浸水60戸に及んだ。

(大津川水系河川整備基本方針参考資料より)



槇尾川神田橋上流(和泉市下宮町)



槇尾川神田橋上流(和泉市下宮町)



槇尾川地藏橋付近(和泉市坪井町)

平成7年7月							
観測所		7/2	7/3	7/4	7/5	7/6	計
横山	日雨量	4.0	192.0	38.0	11.0	0.0	245.0
	時間最大雨量	2.0	46.0	7.0	2.0	0.0	-
山滝	日雨量	5.0	168.0	36.0	18.0	3.0	230.0
	時間最大雨量	2.0	41.0	6.0	4.0	2.0	-
岸和田	日雨量	3.0	119.0	32.0	23.0	4.0	181.0
	時間最大雨量	1.0	41.0	6.0	5.0	4.0	-

4. 既往の治水計画の概要

①対象降雨量

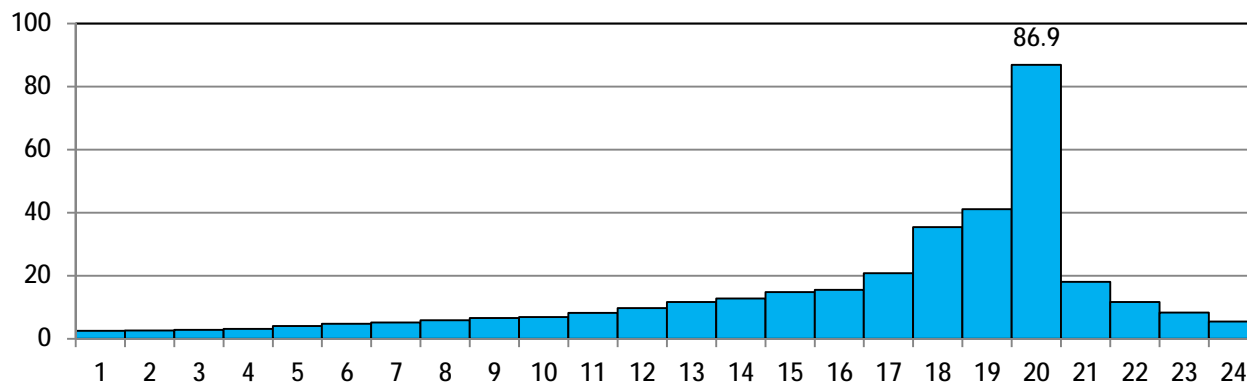
- ・ 日雨量 (1/100) 345 mm/日
- ・ 時間最大雨量 (1/100) 86.9 mm/hr

②対象降雨波形

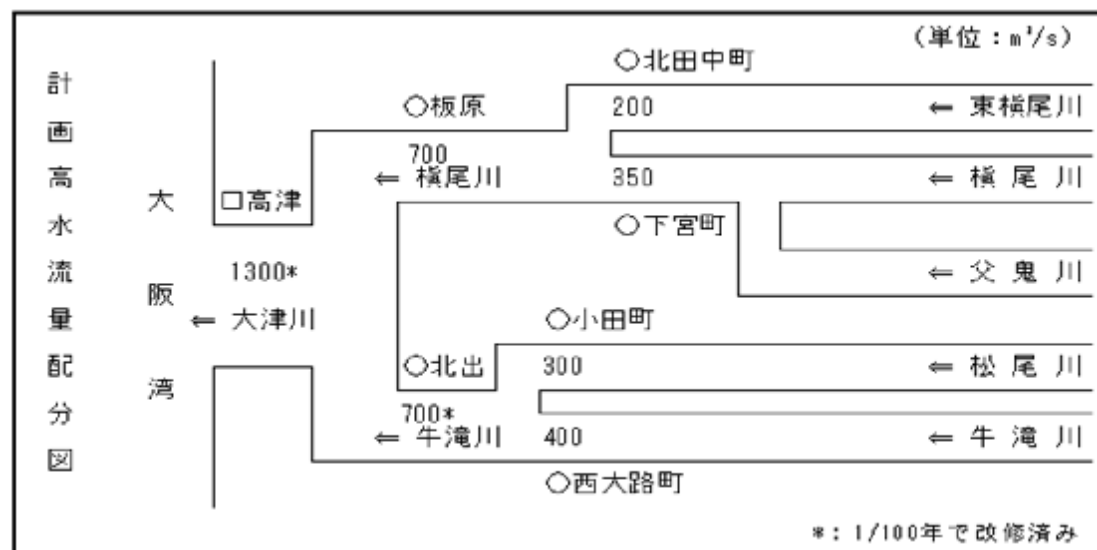
- ・ 後方集中型モデルハイト
(実測波形をもとにモデル化)

③流出解析手法

- ・ 中安総合単位図法



④流量配分



河川改修状況

河川名	要改修延長	改修済延長	備考
大津川	2.60	2.60	80 ^等 対策
横尾川	12.60	10.00	50 ^等 対策
東横尾川	1.20	0.63	50 ^等 対策
牛滝川	12.50	6.80	50 ^等 対策
松尾川	9.30	8.45	80 ^等 対策

将来的な計画高水流量配分図 (計画規模: 1/100)

平成24年2月24日(金)に配布した資料に誤りがありましたので、
修正したものを掲載しております。

修正箇所は以下のとおりです。

- ・ P43…浸水家屋数の修正
- ・ P32…産業別就業者の構成比のグラフを修正